(明治[illegible]第三種郵便物認可)

京城日報

十三日夕刊

定價 紙代 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城本町通二丁目 合資會社 京城日報社 電話番號 [illegible]

○テキサス州警備命令 米陸軍卿の言明

華盛頓來電に曰く千四百名の米國砲兵及び其他の軍隊はテキサス州駐屯警備の任に當るべく命ぜられたり右に關し陸軍卿ベーカー氏は言明して曰く右軍隊派遣の訓令は最近北部墨國に於て數個所の米國領事館に對し投石せる者ありとの報道に接したる結果發したるものにはあらずと(紐育電報)

○舊約法復活されん 新内閣組織か

舊約法の復活は約法復舊調査研究の參議會の結果止むを得ざるに至るべく續て舊國會議員の召集も同く内閣會議より參議會の研究に移され其の可否の決定次第大總統會にて正式に發表を見るべし從て現内閣は一部改造か或は總辭職をなし南方の人士を加へ内閣を組織し國會に臨むに至るべし(北京特電)

○南北聯立内閣案

國務總理段祺瑞氏は南方政府に對し南北聯立内閣組織の提案を為し妥協を圖りたるも新舊約法の取捨に關し南北の意見一致するに至らず交渉行惱みつゝありと(東京電報)

○岑退隱説

上海にて風説する處に依れば岑春煊氏は袁氏の死後退隱の準備をなし曾て袁且に退かば吾夕に隱れんとの意を述べたるを實行し且つ權勢地位を求むるの意なきを表示せんとすと(上海特電)

○鹽税剩餘金

五國財團に於て保留中の支那政府に交付すべき鹽税剩餘金は兌換救濟の資に供せらるゝものに付日本財團のみ獨り交付を拒絶し難き事情あるもの如し(東京電報)

○露軍絶えず前進 聯合國協同作戰の最初の實例

露都來電に依れば露軍が絶えず前進を繼續して向ふ處敵なきの慨あるは實にストリッパの下流ブコヴィナの東北に於ける墺軍の敗北せるを確定するものにして墺軍がタルノポールの西北に於て必死の抵抗を試みつゝある所以は露軍のレンベルグに進軍すべき最も近き道筋を防禦することが目下の急務なればなりコヴエルサルの戰線に於ける墺軍は獨軍の增援を得乍ら尚ほ且つ露軍の前進を喰ひ止むる能はず其の後續部隊はピンスクの沼澤地に立て籠りて動かざるに至るべし露軍が此の度の攻勢は多少聯合國協同作戰の最初の實例ならん(紐育電報)

▲露軍連戰連捷

露都來電によればルックに於て獨墺軍の聯絡を中斷せる露軍はレンベルグ方面に對し益々前進を繼續し連戰連捷を得つゝありと(東京電報)

○最近露軍の得し捕虜

露軍が最近墺太利に對して攻勢を取り其の結果得たる捕虜の總數は今や十一萬四千四百名に達せり(露都電報)

○露軍ク郊外に近く

露都來電に曰く露國陸軍省の發表せる所に據れば露軍は十一日クゼルノウイッチの郊外に近寄れりと(紐育電報)

○伊國内閣瓦解か

伊太利内閣總辭職を爲せりとの報あり(東京電報)

○東清鐵道買收進捗説

十二日哈爾賓に著せる中村關東都督は東清鐵道買收に關する使命を帶べるものにして同地に於て露國側當事者と會同買收に關する協定進捗中なりとの説あり(東京電報)

○合辦金融機關

日支合辦事業として金融機關を奉天に設立するの議は彼我當事者間に交渉遲滯なく進捗中なりと(東京電報)

○在外公債好況

我在外公債頗る好況なりと(東京電報)

○米界稍活氣

久しく沈滯せる米價昂騰し米界稍々活氣を呈し來れり(東京電報)

○二教授の北行

京都帝國大學教授なる工學博士青柳榮司同大藤高彦の二氏は十三日朝入港の新羅丸にて釜山著同十時三十分發列車にて長春に向へり(釜山特電)

○酒税令發布期

本年度より施行の筈なる朝鮮酒税令は既に成案となり藤川税務課長携帶東上、目下主務省に就き種々説明中なり、本令案は既記の如く朝鮮酒を基礎とせる在來の酒税令を改正して重きを濁酒其他の高等酒に置かむとするものにして其結果は從來の酒税に若干の引上を見る可く、之れと同時に輸移入酒に對して一種の消費税を課し、以て其均衡を保たしむ可きが、朝鮮酒殊に濁酒、藥酒の如きは從來の税率と殆んど相違なく、また自家用の造酒に對しては依然無税なるのみならず、釀造高に於ても從來の規定と軒輊なきもの如し、而して之れが施行期は九月中なるべきが本令は殊に一般人民に周知せしむる必要上其發布期は急を要するを以て當局に於ても專念解決に努めつゝあれば遲くとも七月中には御裁可を仰ぎ公布の運を見るべしと觀測さる

○全國上水會議

第十三回全國上水協議會は來る十一月上旬京都市に於て開催のことに決定し此程朝鮮各水道所在地に對し通知有たるが會期一週間の豫定なり

○各道水道主任會議

總督府にては來る七月五日より四日間各道水道所在地なる上水關係主任者の事務打合を開く筈にて出席者は約九名なりと

○農銀會同(第二日)

農工銀行支配人會同第二日は十三日午前九時より總督府第二會議室に開會、農銀支配人一同は素より荒井度支部長官其他關係各課長出席し午前は諮問事項の答申、午後は事務の打合せありて三時散會したり

○定例長官會議

十三日は定例長官會議當日なるより寺内總督、山縣政務總監以下各部長官、局長等は午前十時より總督府第一會議室に參集、重要政務に就き協議打合せの上正午散會したり

○商議設立認可

豫て設立認可の申請中なりし各地の商業會議所中釜山及び群山は此程當局の審議を經て共に其設立を認許されたり而して目下詮考中なるは木浦、元山、鎮南浦の三商業會議所なるが之れ等も亦遠からず認許の運びを見る可し

○京大教授通過

京都帝國大學工科大學々長教授工學博士大藤高彦、同教授工學博士青柳榮司兩氏は十三日午後九時著、同四十分發急行にて南大門通過北行の筈

○藤澤參政官動靜

藤澤參政官は十三日朝大邱發馬山に向へり

○松永道長官下仁

松永京畿道長官は十四日午前八時五十三分南大門驛發にて仁川視察に出張す可く時永事務官大塚書記隨行の筈にて約三日間滯仁の豫定なりと

○小出中佐著任

新任第十九師團參謀步兵中佐小出三郎氏は十二日午後八時五十分龍山著々任、十三日は各官衙訪問著任挨拶を爲せり

○學校敷地略決

京城學校組合が豫ての計畫に基き本年十一月迄に一小學校の新築を行ふにつき京城府は其校舍の敷地として太平町及び明治町等の官有地拂下を其筋に申請したれども差支あり爲めに他の候補地を物色の結果訓練院の一部の拂下を受くることに内定し更に改めて其筋に申請を爲したり同所は元來軍用地なれども既に總督府に移管の手續中なれば無論同所を拂下ぐることゝ決定するに至る可く決定の上は直ちに實地設計を行ひ工事に着手し本年結氷期迄に落成の筈なり工費は豫ねて國庫より補助さる可き二萬五千圓を以て之に充て別に起債に依らざる豫定なれども若し前記豫定工費額以上の建築を爲す必要を生じたる場合にありては起債の方法に依り之を行ふ可しと

○石油値下影響

内外油共協定の上今回朝鮮の石油販賣を一箱七十五錢乃ち一割二三分方の引下げをなしたる事は前報の如し此の引下げは英米本國に於いて値下げせるに非ずして日本内地の賣行き不振時に際し荷間への結果賣急ぎ進まずの情勢を誘致せる爲めに外ならず從て九月頃需要期に入り堆貨略ぼ一掃されんには又々引上げの擧に出づべしと觀測されつゝあり更に今回の引下げは朝鮮にては突然の事とて地方筋にては相當苦痛を感ずる模樣なれど内外油各社共協議して最近高價の際朝鮮方面に多量の荷送りをなし居らずと云へばさしたる事は非ざるべきが尚ほ卸値引下げと同時に小賣四合瓶松印にて十三錢五厘なりしを十二錢に低め居れり尚昨年の夏は昂騰に伴れ其の商圏が各地電燈に喰されし事非常にして現に最も賣行きよき米油松印の如き五六月の最閑散期にも例年少なくも京城一共同販賣所にて一箇月四千箱以上を賣捌く可き筈なれど本年は一千六七百箱に過ぎざる有樣なりと

○東拓の招待會

東洋拓殖會社にては十三日午後七時より目下會議の爲め入京中なる各農工銀行支配人を花月に招待し盛宴を張る由なるが會社よりは林井上村田三理事列席すべしと

○仁川塗料會社

既報の仁川塗料株式會社創立に關する相談會を十二日午後二時より同五時迄商業會議所に開催し種々協議する所あり

釜山

▲學校組合會議 釜山學校組合にては十二日午後二時より釜山圖書館樓上にて會議を開きしが出席者は田端、松本、香椎氏外六名にして第十五號議案大正五年度追加豫算案即ち釜山高等女學校裁縫教室並に附屬工事費三千七百九十圓支出の件を議決したる上議員光藤介氏起ちて今回内地に歸るべき旨の挨拶を述べ是に對し若松府尹は同氏が是迄組合議長として盡したる功勞を謝し午後二時五十分散會せり▲堀井氏の出發 今回釜山驛長より木浦營業課派出員に榮轉せる堀井儀作氏は來る十四日午後十一時發の列車にて赴任▲光藤氏の歸國 釜山學校組合議長たりし光藤介氏は今回一身上の都合に依り十三日午後八時三十分發の新羅丸にて郷里大阪に歸りたり▲荻野氏の寄附 釜山商業銀行頭取荻野彌左衛門氏は今回明治神宮奉賛會へ金一千圓寄附したりと▲選擧有權者數 釜山商業會議所にては來る廿五日頃評議員選擧を行ふ筈なるが之が選擧權を有する者は内地人四百八十五名朝鮮人三十五名合計五百廿名にして從前に比し内地人は百九十七名を增したるが斯は資格低下の結果なりと▲玉木支部長歸任 陸軍運輸部釜山支部長步兵少佐玉木貞次郎氏は家族引纏めの爲め郷里に歸省中なりしが去る十二日陸軍御用船平安丸にて家族と共に歸任せり▲小出參謀長通過 新任第十九師團參謀長小出三郎氏は去る十二日朝陸軍御用船平安丸にて釜山著直ちに龍山に向へり

木浦

▲參政官來木 内務省參政官藤澤幾之輔氏は十日午後四時列車にて來木三吉野旅館に投宿直に橋本府尹の東道にて港内を視察し尚税關ランチにて港内を一周し府尹より當地の情勢を聽取し後は橋本府尹の招宴に臨みたり因に同氏は十一日朝一番列車にて群山へ向け出發せり▲軍艦朝霧入港 洋丸遭難地へ向ひたる同艦は九日入港せり橋本府尹は阿部艦長以下乘組將校五名を東雲樓に招待して晩餐を共にしたり▲李完用伯觀察 李完用伯は十四日光州著十五日來木珍島に渡り豫て朝鮮貴族間にて計畫中の植林用未墾地を視察すべし▲吾孫子校長來木 京城專修學校長吾孫子勝氏は下阪事務主任の東道にて十日午前來木したり▲笹井參事補榮轉 鐵道開通以來鐵道局當派出所に勤務し精勵敏腕の聞へ高かりし笹井參事補は今回平壤に轉任することゝなり不日出發の筈後任は釜山驛長たりし參事補堀井儀作氏なりと

忠州

▲農事近況 冬季暖氣の爲め麥作は平年作以上にて一割以上の增收の見込なり殊に初夏以來雨量潤澤にして貯水池滿水し例年植付不能なりし水田も旱魃の災厄を免れ本月に入りて挿秧に著手したるか農民は歡喜して豐作を豫想し居れり▲旅客頻繁 本年一月より四月まで忠州邑内内鮮人旅館に宿泊したる人員は内地人七百九十八名朝鮮人四千二百七十五名合計五千零七十三名にして滯在宿泊者を計上する時は二萬人以上に達すべし

咸興

▲客月の經濟界 咸興地方は客月は恰も農繁期に入り商況概して不振なるを免れず移出入界亦年中に於ける閑散期にて僅かに季節物たる原麻の取引と端午節句の更衣に迫まり紡績品の荷動きを見たるのみ從つて金融界も差したる變化なく緩漫を持續したり而して經濟狀況は聯隊の建築工事及び道路の起工準備等に因り人氣高まり、牛皮は大阪より大口の注文ありて一躍十圓臺に引戻し好況を呈したりと雖も生牛高の折柄とて出廻り少なからず約一萬五六千斤の移出を見たるのみ米穀は出廻殆無の有樣にて相場騰強く綿布類は節句間際となり賣行き好況を呈し原鹽亦需要期に入りたるを以て奥地方面への積送激増するあり其他石油燐寸粟等の荷動きは何れも振はざりしが日用食料品雜貨類の賣行よく爲めに市況稍好況を呈せたり▲府尹郡守會議 咸鏡南道定例の府尹郡守會議は來六月十九日より五日間道會議室にて開催の筈

元山

▲築港附帶工事 元山築港附帶工事として起工し砂利撒布を終るまでに進捗したる海陸連絡道路は今回更に此の上に土砂を撒布すべく去る四日より著手せるが右終了と共に該道路は近々全部の竣成を告ぐる筈▲驛と貨客 五月中元山驛に於ける貨物の發送總量は五千七十七噸到著總量は五千五百二十二噸にして前年同期に比較する時は發送に於て約百噸の增加到著に於て約九百噸の減數を示せり旅客は乘車數七千百八十八人降車數六千七百五十八人にして賃金は八千九圓九十六錢後拂五千四十六圓六十七錢に上れり▲學寮と補助金 元山學寮は本年内に於て若干擴張を要すると尚從來通の補助額にては到底維持の不可能なるに依り本年度は昨年度に比し三百圓を增し九百圓の補助をなすべく指令に接したりと

新義州

▲五月貿易額 新義州税關支署の調査に依れば五月中の新義州港貿易額は六十三萬三千八百五十一圓內輸移出廿二萬四千百十七圓輸移入三十萬九千七百三十四圓にして之を前年同期に比較すれば十二萬一千百三十八圓の增加を示し本年累計三百十萬九千四百八十一圓に達せり今當月中の重なる品目及び價格を擧ぐれば輸移出に於て米九萬九千六百七十圓鐵類一萬一千八百圓皮革製品二萬七千七百五十七圓煙草一萬二圓木材及び板二萬九千三百二圓大豆七千七百七十九圓黑鉛四千三百五圓牛皮四千五百十九圓輸移入に於て食鹽三萬一千四百九十圓砂糖二千零六十九圓清酒三千六百四十四圓粟七千百八十一圓石炭六萬九千三百五十四圓木材及び板五萬五千五百零八圓綿絲二千百五十圓鐵(釘及び管)三千一圓諸機械類二千五百二十二圓等なり

三道横斷記 (寧越より)

上田 [illegible]

▲三日早朝三良里を發し玉洞里に向ふ山嶺漸く凡ならんとす從て村落耕地稀にして見る可きものあり山間を縫へる瀷江の[illegible]に撰ばるに倒て未だ五里を歩せざるに[illegible]五十餘町途中伊東[illegible]分署長の[illegible]に會し共に[illegible]を携へて寧越郡[illegible]里に入り[illegible]所に泊す沿道の村民國旗を揭げて[illegible]一行を迎へつゝあるは愛すべし▲翌四日寧越分署長の案内にて寧越さして[illegible]けるが瀷江の本流漸く廣くして寧越の南二里の下流には帆船の林立せるあり[illegible]し京畿地方より鹽を齎し米穀と交換し行くと謂ふ水利のある所には交通開け文明進むとは宜なる哉▲下東面大野里に至れば地形一變再び山河の變化に富む一行の木蔭に憩ふ所[illegible]小盤の森あり正陽里には李朝第[illegible]王の胎封を訪ひ[illegible]山、大難山の[illegible]みては昔を偲ぶ、[illegible]邑外[illegible]なる錦江の[illegible]人の眼を[illegible]なりき▲寧越に著せしも日なほ早ければ有名なる[illegible]宗大王の[illegible]朝時代の創始になれる[illegible]に參詣し境內老松蒼蒼として閑寂幽奥なる所さながら京都嵯峨嵐山にも似たらん心地せり▲寧越は郡廳所在地にして此地方の小都會なれど移住民は官廳を除きて僅に六戶[illegible]交通不便なるに依るものなり特産物は[illegible]にして[illegible]に冠たり十貫匁七圓位の平均相場を有すれども是のみを以て郡民生活の基礎となすには餘りに貧弱なり[illegible]殖産興業の途はなきか移住民[illegible]の[illegible]はなきか[illegible]に投じて夜[illegible]なりき

安東縣

▲金融の狀況 月初に於ては銀價低落の爲め邦貨の氣勢を示し爲に日本支那側共警戒し頗る[illegible]にして大口取引なく只豆油の買付のみ獨り活況を呈せしも未だ金融緩漫の狀勢を動かすに足らず月半ばに及んで支那商側手許準備の爲め買入資金の需用あり金融稍々小緊を呈するに至りたれども月末となりては銀價俄然下落し資金の回收も圓滑に入り金融は再び閑散の狀態に入り昨今大豆粕は需用期に入り[illegible]も大に下落し銀價も益々安含みとなり輸移出には比較的好都合となりたれども何分米價弱氣配に壓されて買注文乏しければ此方面も保期する程の資金の需用もなく且豆油も最早品薄を告げ木材の賣行も稍衰へたれば當分金融は緩漫の狀態を持續す可き見込なり

人事消息

▲中村長五郎氏(中村組[illegible]) 十二日夜入京天眞樓へ
▲安部安積氏(龍田組技師) 入京中の處十三日朝退京
▲井上寅吉氏(全北警務官) 同上
▲佐々木志賀二氏(忠北第二部長) 同上
▲吉松憲郎氏(平南第二部長) 入京中の處十三日夜退京
▲中澤[illegible]一郎氏(久原鑛業技師) 入京[illegible]四日[illegible]の豫定
▲[illegible]氏 同上
▲鳥井[illegible]男 入京中の處十一日夜[illegible]
▲松井房次郎氏(慶南第二部長) 同
▲宮崎又次郎氏(江原道第二部長) 入京中の處十五日朝退京の豫定
▲小[illegible]元知氏(久原製錬所長) 十三日[illegible]本旅館へ
▲深川[illegible]太郎氏(同技師) 同上
▲川守田[illegible]一氏(同) 同上
▲矢野久三郎氏(釜山税關長) 十四日[illegible]屋旅館に投宿の豫定
▲安田伊左衛門氏([illegible]) 十三日[illegible]
▲[illegible]郎氏([illegible]) 十三日[illegible]より歸任
▲[illegible]原[illegible]一氏(水産技師) [illegible]
▲[illegible]氏([illegible]) 十三日[illegible]川へ出張

○正誤

十三日附本紙第[illegible]「[illegible]價格引上」と題する記事中「[illegible]税課にては」とあるは「[illegible]出張所にては」の誤り又同記事中「各税關」とあるは「各税關に於ける」の七字を[illegible]

○伊軍進擊

伊軍はトコチノを攻擊せり(桑港電報)

○伊國内閣更迭

伊太利内閣は十一日を以て總辭職を爲せり近日[illegible]一致内閣の成立を見ん(紐育電報)

○徴兵令改正内容

徴兵令第二十二條改正は當國壯丁免役手續を一層簡潔にす可しとの説あり(東京電報)

○工場法施行案延附

工場法施行令案は去る十日樞密院に廻附せり本案は難なく通過を見る可く周知期間を四箇月間存置し九月一日より之を施行するに至る可し(東京電報)

○教育調査會

十二日午後二時教育調査會を開催したるが大學令案の決議は之を猶豫することとし委員會は更に從勞に歸せり(東京電報)

明治天皇御眞蹟出づ
岩倉公に賜りし五百餘字の宸翰

明治天皇紀編纂資料集拾中此程端なくも貴重なる珍品を發見せり右は畏れ多くも明治天皇陛下の御眞蹟の岩倉右大臣に賜はりたる勅語にして五百餘字に亙る頗る長文の勅語なり此勅語は明治三年に薩長の軋轢を御憂慮の餘り

▲雨藩協力一致 し皇家の爲めに盡す樣取計らへとの御意味の勅語にて此の勅語が岩倉右大臣に賜はりたるとは周知の事なるも未だ勅語を拜したるものはなかりき然るに最近に藤波子爵が明治天皇記編纂の御用掛を拜命し後間もなく御眞筆の詮索に取掛りたるが同家は世の知る如く家政紊亂の結果家財道具は既に人手に渡り今日は

▲古文書類を秘藏 したる簞笥長持の如き同家の親類なる某伯爵家に移り所有權も既に同伯爵のものとなり居りたるが伯爵家にても斯る貴重品のあらんとは夢にも知らざりしとて土藏の奥に仕舞込み碌々見もせざりし折柄藤波子爵は池邊編纂官と共に其の長持を探がすこと六日間更に見當らず最後の七日目午後三時頃に至り

▲件の御眞蹟 が種々なる書翰を卷きたる中に入り交りありたるを發見し兩氏の喜び譬ふるに物なく早速持ち歸り波多野宮相に其の旨を傳へたり此御眞筆は不日天覽に供し御聽許を待つて寫眞版となし明治天皇記に收め軈て明治神宮建設と共に同神宮に奉納せらるゝ事となるべし(東京)

汗と熱が附き物の汽船の火夫は減つた〳〵
陸は黄金の雨=勞働者は大ニコ〳〵

今歳は汽船の需要が烈しく船成金といふ通語を生じた程の好景氣であるがその汽船へ乘組んで働く火夫が最近になつて非常に拂底を告げて來たのは一寸珍らしい現象だ一體汽船の乘組員としては

▽多季になると寒風に吹晒されるが苦痛だから水夫の志望者が減少し、夏季になると罐前の熱氣に辟易して火夫の申込が少くなるが、併し玆歳程少い事は殆ど空前と云つて可い、先月末からの季候の不順と時ならぬ温度が更に火夫を減少せしめ、現に大阪西區の日本救濟會の如きも、引受て居る大阪商船と日本郵船との需要をさへ充す事が困難であるから、

▽凡ゆる手段や方法を講じて辛く補充をして居るといふ有樣で、社外船の註文なぞには頭から應じ得られないさうだ、全く奇怪の現象である、ソコで、何うして火夫が少くなつたかといふ原因に遡つて調べて見ると、前に記した季節關係以外昨年來露國其他より各種戰需品の大註文が舞込み、到る所に大小の工場がドン〳〵增加して孰れもボイラを使用するやうになり、陸上は宛で黄金の世界、勞働者大ニコ〳〵といふ景氣から

▽この方面に對して火夫の需要が著しく增加し、翼が生へて飛ぶといつた勢ひ、勿論汽船の火夫といへば陸上よりは給料も多く取れるが、その代り休憩時間休息日といつた所で窮屈な船中の事とて陸上の如く思ふ存分の娛樂や飲食を貪る事が出來ない、之が抑も彼等に取つて何より苦しい點で、大なる影響の根本である、隨つて工業熱の向上は、當然

▽この季節において增加せねばならぬ筈の火夫志願者までが、例年に比してズッと尠く目下申込が僅か五十名內外に過ぎないといふ、海と陸との勞働競爭之も歐洲戰亂が産んだ一つの現象である(大阪)

□馮將軍と其筆蹟

叙州の戰鬪は早くも奉天の張作霖安徽の倪嗣冲等と通じて[illegible]に天下の形勢を覗ひ大總統に九天み[illegible]するの概あるは馮國璋將軍なり

●娼妓刺殺さる 哈爾賓トルゴワヤ街十九番[illegible]日本料理店マツヤカ[illegible]物を突ッ込み猶數ヶ所に突き立てたは悲鳴を揚げて自分が居室に逃れんれば女はその場に悶絶したり賊は更としたるを賊は追縋りて背後より[illegible]からざるもの、如く手を觸れたる形跡なかりしと此の慘狀の發見されしは[illegible]何分[illegible]出し一時間に亙り[illegible]ひたる大手術[illegible]

□蘇生つた

赤城丸
大阪仁川間を處女航海

日清戰役當時黄海の大海戰に於て艦長阪本中佐と共に勇名を一世に轟かした軍艦『赤城』は日露戰役後廢艦となつて

◇帝國の艦籍より 除かれて了つた而して神戸の川崎芳太郎氏が我が近世史上不朽の榮譽を留めた赤城艦がムザ〳〵解體されるのを惜んで其筋より拂下げを願ひ大切に神戸の造船所に繫船して居つた同艦はもと〳〵砲艦として明治二十一年神戸小野濱造船所で建造されたのであるから

◇商船としては使用 するとが出來ずとて客船としても航海に堪へないのであるから帝國海軍史上には不朽の名譽を殘してゐるもの、其用途に就ては持て餘して居た加之艦齡も廿九年といふのであるから恁うなつては鐵板でも剝し船體を利用するより外に途が無かつたのである、然るに歐洲戰亂の爲め世界的に

◇船腹が不足して 來た結果將に破滅の運命にあつた老艦『赤城』も昨年天長節に尼ケ崎汽船に買取られ爾來同汽船造船部の手にて商船としての修繕改造を加へられてゐた同艦は舊式の砲艦なのでスクリウが二個あつて艦首に天狗の鼻の樣な衝角といふのがあり且外觀內容共

◇舊世紀の構造で あるから先づ天狗の鼻を切り落とし次はスクリウを一個に減し、甲板を高く設へて內部の兵員室、彈藥庫及び被服糧食室等を全部撤しその上艦の中央部を切斷して三十尺程新に繼ぎたしてヤット商船らしい姿となつたそして水々と船の外側を黒くお化粧して名も赤城丸と改められ全で見違つた樣に

◇新粧を凝らして 七日に尼崎の造船所から川口の埠頭へ入港して來た同船は今後大阪島仁川間の定期航海に就くのであるが噸數は六百噸の小型船で主として雜貨を滿載し船客は三等六十人程しか乘せられないのである蘇生つた赤城丸も肥料や雜穀や田吾作八兵衞の手合を乘せて之から鹿兒島仁川邊を航海するのかと思ふと轉た今昔の感に堪へないであらう、此赤城丸は九日鹿兒島に向け商船として處女航海に就く筈である

信ぜられぬ毒殺説
袁氏の死因は恐らく誤診の爲めならん=某醫學博士談

袁氏逝去の報と共に毒殺なりとの風說あり或は支那醫者の手によりて投藥を勸めたるにあらずやとの疑をさへ報ずるものあるが右に就き某醫學博士は語る「北京電報に據つて見ると袁世凱氏は尿毒症で死んだのは事實だが尿毒症を誘發すべき腎臟炎の兆候も無く又た之に伴ふ發熱もなかつたとあるがこれが第一に怪しい點であると思ふ何故となれば尿毒症は必然の前提として腎臟炎は必らず起らねばならぬ約束のものであるが醫師の注意不注意に依つて腎臟炎を其と知らずに診斷する場合が往々ある醫術の比較的進步して居らぬ支那の事だから之を神經衰弱だとか胃腸の故障であるとか誤診して其方の投藥ばかりしてゐた爲め腎臟炎が次第に昂進して約束通り急激なる尿毒症となり遂に死亡するに至つたのではないか發熱云々とあるも腎臟炎や尿毒症には發熱するもあり發熱せざるもある發熱の有無によつて腎臟炎に非ずとするは幼稚なる診斷であると思ふ袁世凱氏が腎臟炎に罹つてゐたと云ふ事は同氏を診斷した日本醫の人々から屢々聞いた事である又た亞砒酸云々とあるもこれも怪しい神經衰弱などに亞砒酸を用ふる場合もあるがそれは極く少量のものだから中毒を起す如き事は萬に一つも無い(東京)

盲目判で詐欺
圖々しい廓者

熊本縣鹿本郡內田村生れの松永初次(四三)は龍山桃山遊廓にて內縁の妻松原まさの名義にて貸座敷を營業中資本に窮した揚句去る二月十五日頃て彌生遊廓同業組合の組織に係る賴母子講の講金を競爭落札の際之れを借り受ける手段として抱娼妓の流行兒なる千代子事高橋あさより妻まさに宛てたる額面二百五十圓の借用證書まさとあき兩人間の稼業契約書及び前記兩名及び自分を加へたる三人連帶の借用證書等を僞造し何れも有合せの盲目印章を押捺して世話人に差出し二回に落札金六百九十九圓を詐取したるを元町派遣所の憲兵が探知して取調べの結果同人は大正四年中抱娼妓若奴事若金もみの名義を冒用したる僞造の借用證を使用し外にも附帶契約書を捺へて明治町仁豐野某より九十六圓を借入れ外二三箇所にても同樣手段を以て抱娼妓が借入れるもの、如く裝ひて騙金したることも判明し此程京城地方法院にて懲役十箇月の判決となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴申立を爲したり

薩摩の守泣く

京城本町四丁目山口四郎(一〇)日の出町秋山國夫(八)の兩少年は十一日の日曜日南大門驛に遊びに行き急に汽車に乘つて見たくなり折柄元山行の列車が發車せんとする際何れよりか潛り込みて乘込み何處に行く目的もなく打興じ居れるを東豆川驛にて車掌が發見し取調べたるに兩人は泣き出したるより取敢へず下車せしめ同地の憲兵派遣所員に引渡し一方其旨を南大門驛及び少年等の實家に急報し同日夕刻南大門驛著の列車にて送還されたりと

化の皮を剝る

京城黄金町二丁目金基善(二二)は無職にて各町を徘徊中六月四日正午頃初音町泉某方家人の不在を見澄まし鐵條網を潛り板塀を乘り越えて侵入し衣類五點(四十二圓)を竊取し之を黄金町の金子質屋に持ち行き入質せんとしたる際家人に怪まれたるより贓品を其儘打棄てゝ逃走したるを本町署の刑事が取押へ取調べの結果此者は外二箇所にて衣類雜品數點(五十餘圓)を竊取し一部は入質し一部は著用し居れる不敵の曲者なる事判明せりと

英國汽船沈沒
西貢の沖にて

浦鹽行貨物滿載の英國汽船ウキセリー號(四千噸)は西貢沖にて火災を起し沈沒の電報到著し山科工務所にて救助交渉中なるも作業困難の模樣なり(長崎)

●八田博士動靜 渡歐の途次京城に立寄り林東拓理事邸に滯在中なる八田博士は十三日午前林理事の案內にて碧蹄館を視察し午餐は關屋局長の招待を受け夜は寺內總督の晩餐會に招待せられたり博士は十四日朝出發の豫定なり

●二雜誌發賣禁止 ボッケト雜誌(六月號)おもしろ誌(辰の巻第十一號六月五日附)兩誌は風俗壞亂の廉に依り發賣頒布を禁ぜらる

●電柱に頭を 龍山漢江通り龍山郵便局集配人太田伊三郎(二五)は十一日午後十一時頃漢江通十一番地停留場にて進行中の電車より飛降り電柱に頭部を打著けて打撲傷を負ひて打倒れ目下鐵道病院に入院加療中

●鳶職は曲者 大阪府豐能郡秦野村生れ龍山元町二丁目居住鳶職山田卯三郎(四二)は前科二犯の曲者なるが五月三日知人なる京城北米倉町石井ふじが金指環一個を代金に替へ目下永登浦分監に服役中なる內縁の夫太田右三郎に送金方を卯三郎に依賴したるを寄貨とし同指環を龍山元町二丁目の質屋に四圓五十錢に入質し悉く酒色に消費したる爲め檢擧せられ又々懲役一年に處せらる

●呆れた女房 咸南咸興郡德山面三峰里金守觀妻鄭姓女(二九)は夫の癲癇病なるを嫌ひ同所申允燮(三二)と姦通して本夫に告訴され大正四年六月中兩名共懲役處分となりたるにも拘らず出獄して本年舊三月以降又々相通じたる爲め再度告訴され咸興地方法院にて鄭姓女は懲役一年申允燮は同十箇月の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴したり

●癲癇から溺死 京畿道坡州郡泉峴面金谷里趙姓女(三五)は豫て癲癇に罹り居り十日午後三時頃自宅附近の小川にて洗濯中持病が突發し河中に墜落して溺死したり

京城に何が欲しいか
(投書)

□欲しくて實際に出來るもの 視學官 太田秀穗氏談

欲しいものは澤山あるが實際に設置され得べきものを云ふと新聞雜誌の閲覽所である京城には一寸外出して各地方の新聞及び新刊の諸雜誌を見られると云ふ處がない猶此の

▽新聞雜誌閲覽所△ にはミルクホール式の簡易なる食事を取り得るだけの設備が有つて欲しい例へば五十錢位で丼を一杯喰べても下品でない樣な設備がされて居れば一寸散步の序でに人を伴つても這入れる事になる、次には

▽スケーヤガーデン△ が是非欲しい京城には周圍に山もあり城外に出れば淸凉里や漢江畔の樣な散步地もあるが市中で子供が凧を揚げたり獨樂を廻はしたりして遊び得られる如うな處が是非

▽パコダ公園の外△ にいま二つ位欲しい、と思ふ猶此外に朝鮮人に仕事をさせる機關が欲しいと思ふ、現在では朝鮮婦人は仕事を爲たいと思つても外へ出て働く事を厭ふて居るから仕事の

▽材料を與へて自宅△ で刺繡なり編物なり其他の職業に就かせ出來上つた品物を一手に纏めて輸移出をする樣な機關も欲しいと思ふ此の他に欲しい者は現在のものよりも更に完全なる中等程度の夜學校等である

▲上品なカフエー 消食生

京城には可成りに澤山のレストラン、や、バアの樣なものがある其れが皆何れも花耻かしき妙齡の美小女をウエートレスにして白いエプロンや赤い帶で若い生命を餓ひたがつてる客があると盛んに「何か御料理は？」を喰はせ度がる喰はないでは具合の惡い樣な變め方をやる

◇鳥渡一杯◇ 生ビールを飲みに行つても二皿三皿は彊請させられる樣な結果に成る無論よく飲みよく喰ふ客ほど料理屋にとつては都合がいゝに違ひ無いけどお客の方から言へば其處はあつさりやつて貰ひ度いのだ乾いた咽喉に一杯の生ビールを注ぎ込んで其儘歸つても厭やな顏をしない樣な

◇淡白した◇ 處が欲しい一皿のアイスクリーム丈けで失禮しても妙な素振を見せられ無い樣な處が欲しい兎に角上品なカフエーが二三軒あると云ふ事は京城の市街美にもさしたる損害を與へたる樣な事はあるまいと思ふ諸君如何ですか？

讀者の聲

慈善の美名を冠せる催しもの、高等押賣の取締りがして欲しい(眞の慈善家)

▲本町通りの雜沓は不敢取車夫自轉車乘の取締を行へば大半は防止し得るものと存候(徒步主義者)

我輩は銅像よりも寧ろスケーヤガーデンの急設を希望する(散步好き生)

救貧機關といひ職業周旋所といひ要するに京城に小工業が勃興すれば此問題は自然消滅すると思ふ小工業を起す方法なきや(小經世家)

●暴風警報 六月十三日午前十一時三十分發警報文 風强かるべし、低氣壓位置黄河下流[illegible]

天氣 ▲六月十四日 曇一時少雨

●正誤 本紙第參千百四拾六號六月拾壹日夕刊掲載京城地方法院永登浦出張所商業登記公告中第四行ニ『貳百貳拾番地』トアルハ『貳百貳拾貳番地』ノ誤植ニ付訂正ス

演藝案內

天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 黄金町四丁目 電話二六三七 黄金館
六月十日より 新築落成開館記念特別大寫眞
◎實寫フローレンス ◎滑稽チム君の喧嘩 ▲新派喜劇白ハンカチーフ 最長尺
●新派喜劇白ハンカチーフ 抱腹絶倒お腹の皆皆樣ひ臍をはずさぬ樣御注意
▲伊國ゴーモン會社特別作品
◎探偵大活劇『アルタス』 全十卷
本フヰルムは五月二十八日輸入當館新築落成開館の爲め特に封切り上映す內容は敢て諸賢の賞讚を要するの必要なし只ファントマス名金以上の逸品なる事を斷言す
▲鶴の聲樹花生大傑作
◎新派大悲劇『不如歸』 全四卷
內容は世人の克く知らるゝ處只斯界の明星井上正夫一派の大車輪大熱演にして我シネマ界の才ー！ソリーチもつ我天活會社の苦心特別大撮影に係るもの鮮內興行界の泰斗當館京劇(鬼島旭洲)琵琶を以て御高覽に供し奴
▲和洋音樂界の名手竹岡和樂氏を招聘し劇情の洋技を新たに御冥覽に供し尙く御贔屓の御批評を仰ぎ度く候
▲期待されたる新築落成の黄金館―內容の壯觀畏期待されたる實館十日正午より開館式擧行午後六時より一般御觀覽に供す當日より顧ねて御定の通り記念品贈呈仕り候
(御注意)天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 Mカシー商會(明治町) 電話二八五二(階上)二六三七(階下) 黄金館

今晩の讀物 明治町 電話一六〇番 浪花館
二人探偵(燕之助) 湖田主水(如月) 櫻川五郎藏(雲照) 水戶黄門(兎月) 佐原家騷動(長講二席) 京山恭爲 三郎正孝子傳(如雲)
△入場料は嵯天飛切りなれば…… 毎夜正六時開演

連日連夜滿員札止 黄金館
『名馬』『ファントマス』以上の
◎探偵大活劇 アルタス 全十卷
◎新派大悲劇 不如歸 全四卷
兒島旭洲琵琶彈奏
●新築落成に付き聊か祝意を表し紀念品贈呈仕り候

御成座 電話二九一 御成座
七日目豁題 一番目 お軍お仙 七場 二番目 喜劇夢の浮橋 三場
(本田東芳平 石川鶴之助 …… 香川 …… 三島 …… 吉川 …… 中村)

櫻井町 電話八七三 大正館
六月九日より新派連續活劇(後篇)
◎泰西活劇『秋の網』 上下二卷
◎日本寫眞琵琶劇『湖の花』
◎新派大悲劇『楠公記』
▲義士銘々傳『赤垣源藏一代記』
大正館入口以上十二名大

運轉手 自動車
都會に海外に大成功を成すには現今開業と收入の最も多い自動車運轉手に限る
東京市京橋區南紺屋町 濟動機協會
以上五十錢郵券送りて規則書を請求せよ

文政御通知あれ ゴム底 目
學生吏員運轉車用旅行 動野球勞働者用に適し 最も丈夫にて破れず 特價 六拾五錢 送料 五錢 三足以上引受す
大阪南區… 野町商店
阪書貳六

水銀 新荷着 保税品有
京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五二・二七七

南部鐵瓶
岩手縣二戶郡一戶町 高見虎五郎
御照會次第見本定價表進呈

朝日 致富之寶 無代進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人 今吉商店 米
電話長北

特許 衛生食卓カバー
此は金網で掛布の膳を手輕に掛けて埃を除く…

定價 …
送料內地壹個二十錢
東京銀座尾張町 發賣元 玉屋洋品店
朝鮮京城府本町二丁目 橫山隆一支店
振替口座 京城一三〇番
特約販賣希望の方は代理店にて御相談に應ず

本院 京城支那領事館前 電話一五四一番
分院 龍山溫泉 電話一〇一番
診察 京城午前八時至十二時 龍山午後一時至六時
中村耳鼻咽喉科醫院

指環及時計
仁川本町
糸岐商店
電話三七〇番 振替京城七一一

目くすり中の目くすり
岸田 精錡水 (目藥)

今般本町二丁目に住辰氷店開店致候處右は小生ニ何等關係無之候間此段廣告候也
大正五年六月十二日 京城南米倉町十五番地
住竹號 鳥野竹造

…は國都に入るや否や[illegible]…カヤの頭部に[illegible]なる及ボーイの顏面を[illegible]したるよりボーイ…全員の入れ[illegible]し雜のみは遂に見付…者はそれ〴〵中央病院に送りたるも…

●油斷の多き

若夫婦の家

□夏は空巣覗多し□ □散歩に戸締肝要□

□これから夏になると空巣ねらひや掻浚ひが多くなります

□これは熱さの爲めに身體がだらけて正體もなく熟睡するとかまたは若夫婦一緒に本町あたりの散歩に出かけるとかで自然盗棒に好機會を與へる時が多くなるからでありませう

□犯人は主に朝鮮人が多いのですが彼等も夏は冬季に比し生活が容易であり且つ盛夏となれば眞瓜一つで[illegible]されるのですから注意さへすれば餘り盜賊に罹る憂ひは無いのです

□泥棒にも三分の理窟……といふと可笑しいが彼等から云へば彼等に隙を與へるのは與へる方が惡いかも知れませぬ

□併し盜棒の中には御夫婦のみの新家庭と眼星をつけたが最後常に外出の隙をつけねらふ者も多いのですから夏は用心しなければなりませぬ。(鍾路署下村警部談)

白耳義皇后エリサベス陛下

●此頃の盛花には

▽趣味深いばらとゆり△ ▽涼しさうなものには△

△京城のこの頃の盛花には薔薇と百合花とが趣味深きものです

△百合は水揚げが容易ですが薔薇は少し手がかゝります

△先づ切りとつた薔薇の根元はこれを小刀で割りましてそれを唐辛の熱い湯に浸します

△紅色の薔薇は純白のものより水揚げが一層困難の樣です

△次ぎに極めて涼し相な盛花はベニアの花とクロトバとカナコの三種を取り合せたものです

△この三つは何れも粋な容色を有つて居りますからこれに盛鉢の中を敷砂として水邊の趣を現したならば至極夏向で面白いかと思ひます(明治町 常盤氏談)

●岡田氏送別會 多年總督府醫院[illegible]たりし李王職技師岡田信利氏は[illegible]に依られました[illegible]都合により京城のお宅を引拂ひ東京にお歸りのこととなりました京城における先生の知己は[illegible]永博士を始め數犬の人發起となり十四日午後六時より京城ホテルで送別會を催します

婦人界消息

○丹羽幹事歸京 元山に出張中の丹羽清次郎氏は十四日午後五時着で歸京

○谷村社司移轉 京城神社谷村社司は南山町一丁目十番地に引越されました

△鈴木貞子(南大門小學校女教師) 過日來お産にてお休み中の處十三日より出勤されました

△西﨑くみ子(鐵南浦警察署長夫人) 久しく總督府醫院に入院中のところ十三日全治退院なさいました

△岡田眞子夫人(前李王職技師岡田氏夫人) 岡田技師歸國につき當地を引拂ひ來る十五日出發されます

神社と教會とお寺

○高野山別院(朝町) 十四十五の兩日宗祖弘法大師の千百四十三回降誕會を執行し猶ほ有志者の浄瑠璃琵琶等あり

○西本願寺(若草町) 十四日午後八時より說教、十六日午後二時より婦人會

○東本願寺(南山) 十四日午後二時より婦人會の例會あり

○天理教布教所(旭町) 十三日午後三時より記念祭執行

─△會いろ〳〵▽─

□京城中學テニス會 十四日午後三時より職員の[illegible]あり

□職員研究會 南大門小學校にては十三日の午後放課後職員の體操研究會あり

□胡瓜鰺の粕和 胡瓜の皮をむき小口より薄く切りて鹽にてもみおき水にてあらひしぼりて酢につけおく、鰺はぜいごを取り頭をおとし腹をあけ三枚に下し鹽をなし酢につける、酒の粕をよくすり胡麻の白味噌を加へて砂糖砂糖を加へ酢にてゆるめる、胡瓜を酢よりあげ鰺も酢よりあげて細く切り二品を粕にて和へる際鰺の皮を上よりかける

◎國産奨勵講演 國産奨勵會々員松本徳美氏は十日土曜日の午後より女子技藝學校にて一場の講演を試みたるが氏は婦人日用の紅白粉化粧品類が極めて廉價なる原料と國産なるを要しつゝ實價の非常に不廉なるを說き簡易なる諸種の實驗を試みつゝ白粉、へちま、洗粉など製造したるが極て有益なる講演なりき

◎日の出同窓會 日の出小學校卒業男子生徒の同窓會は十一日の日曜午後一時から同校内に於て開催されたるが出席者約百餘名一同和氣靄々たる裡に歡を盡くして午後五時過ぎ散會せり

◎西大門學校の競走 西大門小學校にては十三日朝より高等科二學年生徒全部の徒歩競走を試むべく獨立門外に赴きたるが競走の結果は頗る良好なりしと

◎醫學校の擴張 南大門外セベランス醫學校にては、醫學校を擴張したる爲め從來招聘せる内地人醫師五名の外に又復大島正健氏を招聘したり

番茶のあと

逝くなつた袁世凱氏は正夫人の外に日本婦人が一番嫉ひの方で殊に日本婦人が一番厭ひだつた相です▲支那では正夫人が逝くなると第二第三夫人が順次に正妻となるのだ相ですが有繁に第四以下ははれませぬ▲佛蘭西の名女優サラ、ベルナールはヴエルダン要塞を訪問して砲彈の下で古典劇を試みました▲婦人の一生を六十年とした統計に教育十七年、睡眠十年六箇月、入浴一年六箇月結髮六箇月とありました

●白耳義皇后エリサベス陛下

□親しく戰線に兵士を御慰問遊ばさる□

◇歐洲の皇室では現在の君主かまたは君主の子孫同志の間柄で無ければ決して結婚をなさいません、君主でも其の子孫でもない女は如何に高貴の貴族の出でも枕金結婚として卑しめられ皇族の禮遇を停止せられます

◇それで此度の樣な大戰争になりますと各皇室には數多の時姫や八重垣姫が出來て「孝と貞との岐路」に迷うて居られます

◇現に露西亞の皇后陛下は獨逸聯邦國の姫宮で英國皇后陛下は獨逸ウルテムベルグのテック大公爵の出、伊太利皇后陛下は獨逸側なる勃國王の姫君、英側に傾いてる希臘皇后陛下はカイザーの妹君です嘸皆御心苦しい事だらうと思はれます

◇其の中最も御同情に堪へぬのは白耳義皇后陛下であります、現エリサベス陛下は獨逸聯邦中の普國に次ぐ大國たるバヴリヤ王國のテオドル親王の姫君で今から十七年前白耳義に御輿入れになりました

◇陛下の白國國母陛下となられてからは今迄兎角折合が悪しかつた白耳義國民も陛下の御仁德に融和せられました

◇開戰以來白耳義全國殆んど獨兵の爲に蹂躪せられましたので陛下の御心配も亦非常なもので或は負傷兵を勞はり孤兒を育て或は彈丸雨飛の塹壕に出入して聯合國の兵士を慰問されるなど殆んど寢食を忘れて勉めて居られます

◇また陛下は有名の美人に渡らせらるゝのみならず、ヴアイオリンの名手であらせられ戰爭前には内親王殿下には音樂教師を御任命なさらず自分で敎授して居られました

商況

東京株式特電

	十三日 前場寄付	大引
日本郵船	[illegible]	[illegible]
京城電氣	[illegible]	[illegible]
東京瓦斯	[illegible]	[illegible]
東株新	一三七、三〇	一三七、五〇
東新第一	一三四、一〇	一三四、一〇

債券現物特電 (前日との比較)

十三日 | 東洋拓殖 [illegible] | 京城電氣 [illegible] | 朝鮮銀行 [illegible] | 南滿鐵道 [illegible]

公債直取引 (前日との比較)

十三日東京 | 九五、三〇 | 八一、二〇 | 八二、八〇 | 九五、三〇

深川在米特電

十三日 | 七五、四〇一 | 五五、六四〇 | 二〇七六、四一六

東京期米特電

十三日前場 八月限 | 四、二〇 | 四、二一 | 四、〇四 | 四、〇八

大阪期米特電

十三日前場 | 寄付 | 高値 | 安値 | 引值

大阪株式特電

	十三日 前場
東新	三一〇
宮株	三五七〇
安い	三九九
	止め

大阪三品特電

十三日前場 | 六月限 一三、五〇 | 七月限 一三、九〇 | 八月限 一三、六〇 | 九月限 一三、〇〇 | 十月限 一二、八〇 | 十一月限 一二、〇〇

下關期米特電

十三日前場 | 寄付 | 中値 | 引値

朝鮮物産特電

仁川白米 | 仁川中米 | 仁川下米 | 京城白米 | 小豆 | 大豆 | 他 [illegible]

雜報

●板硝子弗々 板硝子は歐洲戰亂の爲めに一時は輸入杜絶の影響にも工事日の前途しあり近來の入品は主として和製品多く米國品の如きは約定品中不足を補ふ程合せとして時に入荷を見るのみに過ぎず價格の昂へ[illegible]の惧きあり其價格も近頃に比しされしものありし

●黑蕃の十九圓乃至二十圓處にて…

●東氷弗々動く 氷類は時に冷氣を感ずる今日にて需要は未だ冷蔵用のみに過ぎざるが最早例年の賣季節を迎へつゝある事とて此處天候の定まりたる上は氣溫の昇ると俱つて荷動の額累を加ふるに至るべく而して本年の天然氷は結氷期間に於て暖氣の永續せし爲め漢江産の如き例年に比し著しき産額の減少を見るに至り採取當時より既に前途の供給不足を懸ねられ當業者のみならず需要者に至る迄悲觀的に傾く鳴絲なり

●毛斯綸は閑散 前の東京毛斯綸直仲間にて實行せし…

●綿布相場ヂリ高 十二日の大阪綿布相場は更に二錢方騰貴の入電あり京城相場も先月以來漸次騰貴を示しつゝあり

●綿依然持合 京城市場の商況は…

四十一二錢處 百二十斤建

下關相場

●桃走り入荷 …

吉 行賣仲買店

利 仲買店

京城正米

南大門の廻穀

京城雜穀

仁川現物市場

釜山市場

仁川期米

▲十三日前場

大阪八節八十九錢安

三巳仲買店

生魚市場

各地商況

○大邱(十三日の穀物)

市場零聞

▲續て小鈍し

▲大阪の成行

地反比例に割安

▲強弱の腰入

中先限に集注

▲目先尙小相場

恰も仕掛待

仁川米豆取引所

十三日の八月限

前場	平均値段
寄付	十一圓九十一錢
止	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
出來	[illegible]

賣買取組高

六月限 千四百五十石

七月限 二千三百五十石

八月限 三萬二千五百石

十三日後場 前日と較比

株式だより

▲石油株

小賣白米

白米標準値

朝鮮總督府許可

人參直引大販賣所 京城本町一丁目 朝鮮名産人參エキス 人參藥 一切製造發賣元 津村兄弟商會

■内用 精能 神經衰弱、病後、老衰、腦病、子宮病、肺病、胃病、營養不良、病後の滋養強壯

■外用 精能 神經痛、打撲、擦傷、凍傷、火傷、切傷、腫物、肩凝り、時節の蟲に…

定價 六十錢 三十五錢 一圓五十錢 …

特約店 京城本町二丁目 北島藥房 京城本町一丁目 古城藥房 京城南大門通 廣岡藥房

乳牛 ヨーグルト 東亞牧場

水車 唐箕 製造販賣 京城本町二丁目(元町)土井米吉 電話一三二六番

ほまれ三味噌 日本醬油株式會社京城出張所 電話二四五番

大福 麥 池田製麥所

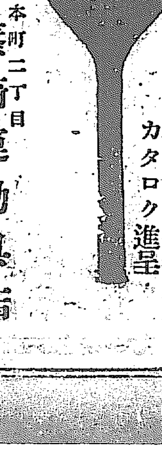
ジヨキニカケテムシタムギ エイセイジヨウセヒジヨウシマセ

電話にて御注文は多少に不拘御届け申候

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院

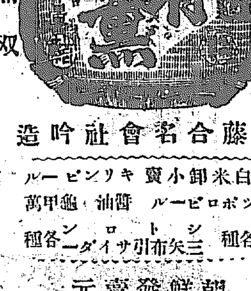
藥種賣藥卸商 Ⓚ 仁川本町 北島藥店 京城永樂町 北島藥店支店

醫化學器械一式



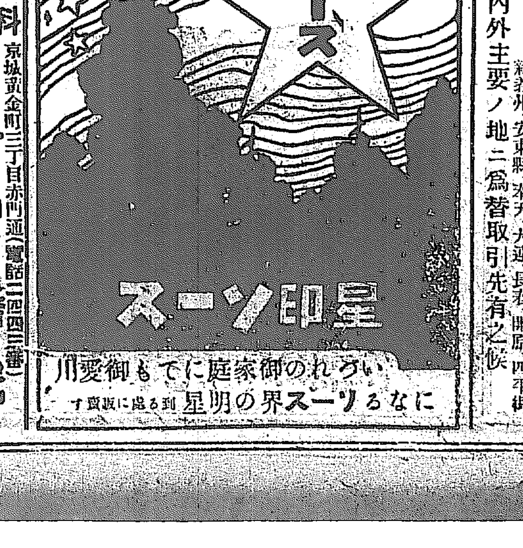
運動具は京城シノサキに有り カタロク進呈 京城本町二丁目 篠崎運動具店

無双醇良清酒



品質無双 無害衛生 首藤合名會社吟造 精白米卸小賣 キリンビール サッポロビール 醬油 甲萬 龜甲 シトロン 三矢 サイダー 各種 朝鮮發賣元 首藤京城支店

眼科 内科 小兒科 入院隨意 京城黃金町三丁目 本田醫院 院長 本田建義



朝鮮銀行 當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城 電話 支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎮南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街 右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

宮本武藏

第六十八回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

廣島から便船へ乗りまして宮本先生筑前博多に着し道中急いで肥後の熊本へ乗込んで参りました、長者町佐々木剣道齋岸柳の道場といつて尋ねると直ぐ知れた、熊本で岸柳といふと三ツ子も知つて居る大した勢ひ、本町の菱屋金兵衛といふ旅籠屋へ泊つて其晩は休息する、翌朝になつて亭主の金兵衛が　金「エ、旦那様昨晩は有難う存じます、多分のお茶代を頂戴いたしまして　武「ア、亭主かい

種々厄介になつた　金「誠に行屆きませんで、エ、旦那様はお言葉の御様子が江戸で在つしやいますな　武「アヽ拙者は江戸だ　金「左様で在つしやいませう實は私も江戸ツ子でございます、江戸の濱町に居りました、今は斯んな天竺に近い所へ來て居りまして、右を見ても左を見ても九州ボウばかりで心細くなることがございます、旦那様のような江戸のお武家様を見ると何だか無性に江戸が戀しくなります　武「さうかい道理で氣の利いた風をして居ると思つた、拙者も旅をして歩いて居るとな、斯ういふ所へ來て江戸の者と出遇ふのが樂しみだ　金「へエ其は御尤もでエ、旦那様は當地へ御見物にでも在つしやいましたか　武「ナニ見物といふ譯ではない少々用事があつて聞り越した、就いては亭主に少し聞く事がある　金「へエ　武「此の長者町に佐々木岸柳といふ剣術使ひが居るな　金「へエ佐々木先生でございますか、そりやアどうも大した先生で……　武「岸柳といふ人物は道場に居るであらうな　金「イエ岸柳先生は御在かございません　武「ナニ岸柳が居ない　金「へエ」宮本先生驚いた、熊本くんだりまで尋ねて來て岸柳が居ないと聞いたから無理もない、武「何處へ参つて居る　金「其に就いて種々お話がございます、旦那様は江戸の方で在つしやいますから能く御存じでございませうが佐々木先生の御弟子の澤田圭左衛門といふ人が先生の名代となつて江戸へ出張いたしました、所が江戸小石川白山御殿下の石川軍刀齋先生と剣術の遺恨があつて、詳しい事は存じませんけれども其石川先生のお弟子さんの宮本武藏といふ人が去年の九月目黒行人坂で澤田圭左衛門、其から弟子の押田佐吉青山文平といふ其三人を斬つて了つたのださうで、其れを岸柳先生が聞いて逆縁ながら門人の敵だから宮本を討つて了ふといつて去年の暮に江戸表へ向つて出立をいたしました、其つきり只今以つて立歸つて参りません　武「ハヽア江戸へ往つたか　金「左様でございますア旦那様の前でございますが宮本武藏といふ男は卑怯な男で、江戸では大層質れて居る男だそうでございますが何も岸柳先生が出懸けて往くまで待つて居る事はない、江戸ツ子らしく熊本へ乗込んで來て一か八かの勝負をするが宜いぢやアございませんか、大方澤田圭左衛門は斬つたが岸柳には及ばないと思つて少さくなつて居るんで、江戸ツ子は五月の鯉の吹流し、口先ばかりだなんて田舎者に笑はれても仕方がない、私も江戸ツ子で宮本を悪くは言ひたくないが餘り卑怯で大方戸棚へでも入つて居るんでございませう』武藏が前に居るとは知らないから亭主が悪くいふ、忌々しい奴だと宮本先生思つて居る、戸棚へ入つて居るなんて癪に障るが仕様がない　武「さうか其は残念だ　金「エ、旦那様は岸柳先生をお尋ねになりましたか　武「ア、岸柳といふ人物は仲々剣術が能く出來る老人だといふ事を聞いて尋ねて参つたのだ　金「其は残念で在つしやいませう、生憎お留守で、尤も大先生の名代に四天王が居ります澤田一角之れは圭左衛門の弟で其から松田軍次郎、吉江九十九、大島亘といふ此四人を岸柳の四天王と申しまして仲々の技倆でございます、其外三千人も門人がございます大した勢ひ、折角お在になりましたものでございますから其四天王とお立會なすつたら如何でございます　武「ウム四天王が居る、其は幸ひだ折角來たものだから其四天王と立合つて見やう　金「さうなさいまし　武「其では今日一つ道場へ尋ねて見やう』

京城本町二丁目浦尾旅館向ひ
内科 小兒科 婦人科　京城醫院
電話七四二番　村上憲佑

京城南山町三(巴城館通り)
歯科　歯科醫學士　橋本清次郎
電話二九二〇番

六月十五日九星
舊五月十五日癸未
本命八白艮除先勝

▲八白 力づくにゆかぬ事有る日新事見合 東方は吉 婚禮良 ▲九紫 天祐を得る日 轉居旅行入學求職 田 漁 井戸 婚禮 醫藥 [illegible] 吉 ▲一白 思はぬ散財を生ぜんとす注意新事手控 移轉 樹を植ゑるは吉 ▲二黒 痛し痒しの事有る日 新事手控 [illegible] ▲六白 親切の日 轉居旅行 入門 [illegible] ▲七赤 優かなる日 [illegible] 女子の物の指南 [illegible]

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版 亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も迅速に適切な…可申候
京城日報社 寫眞製版部

御婦人でも
男子方でも
髪の艶を増し
毛を素直にする
クラブ香油

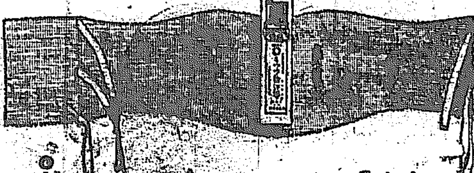
原料特色

日本に二つとない理想の美髪用香油として畏くも皇后宮職御用の恩命を拜しつゝある此のクラブ香油は美髪料として特効ある純粋の椿油、山茶花油、扁桃油及び橄欖油等の植物性純油を主要な原料として更にクラブ獨特の美髪劑と貴重な香料とを配合して謹製致しました天下一品の香油で御座います

御婦人でも男子方でも常に此クラブ香油をお用ひになれば(一)髪の艶を増し(二)毛を素直にして癖を矯し(三)髪の營養を助け毛を肥し(四)拔毛切毛を防ぎ(五)頭垢を去り臭氣を除き(六)頭を冷やし氣分を爽にするに著しい特効がありますから近來御婦人のみならず男子方の調髪料としても非常な好評で御座います

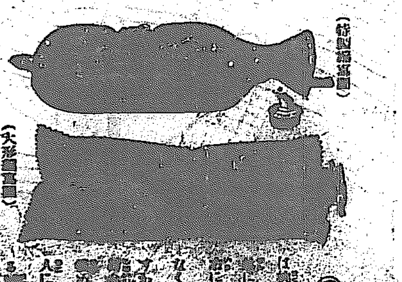
高貴御料
クラブ白粉本店謹製品

薄く品柔軟で少も邪魔にならず而して完全に防汗が出來る
ゴム入、メリヤス製――日本ラバ商會謹製
◎ミツワ防汗帯
定價 大形金一圓 小形金八十錢



◎ミツワ防汗帯は、ゴムを中心として、特製の薄きメリヤスを以て、[illegible]作りたるものなるが故に、從來用ひ來りし、ヘチマの類にて作りたるものとは異り、[illegible]

新案特許 純護謨製 大阪 宗田商店謹製
◎ミツワ水枕
定價 大形壹圓廿錢 小形八十五錢
凡ての家庭には必ず二個の水枕を備へざる可らず



◎ミツワ水枕

ミツワ石鹸
ミツワ歯磨
ミツワ椿油
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元 ◎丸見屋商店
東京市日本橋區[illegible]町四丁目

第三版
京城日報
十四日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所　京城日報社

時局評話
三首領の會合
德富猪一郎氏談

三人の政黨首領が三浦子爵邸に集つたといふことは、國民新聞が素破抜いて、遂に問題となつて來た。此の會合に就いては尠くとも二つの意味が有ると思はれる。世間のわいわい連中は別として、識者階級に於ては大隈内閣の外交を危險千萬と考へて居る。特に對支政策に就いては、ものになつてゐないと考へて居る。貴族院の多數の如きは、早晩、大隈内閣が辭職するものと確信してゐたのである。其れに就ては、大隈内閣組織の當時にも力を借した山縣公が當然其始末をつけるだらうと思つてゐたのである。然かるに今春以來、山縣公は病氣に罹られた。今は全快されたといふことであるが、活動さるるには、尚多少の時間を要するであらう。兎に角、是れ迄は山縣公の肝入りで片が付くであらうと其れに依賴して居たのが、既早、何時迄待つても、仕方が無いと締めをつけ、そこで、斯かる會合が催されたのであらうと推察される。

また、加藤高明などいふ人は、同志會の首領で、同志會によりて現内閣が立て居るのに、その首領が反對黨の兩首領原、犬養氏と同席し國家重要の問題を議するのは、如何にも尋常の事とは思はれぬ。これは、取りも直さず、高明其人が大隈伯に不信任投票をしたものと認むるより他仕方があるまい。更に、手廣く言へば、三黨の首領が合併して大隈内閣に辭職勸告するものと見る可きであらう。

縱令、斯く言明せざるも事實は其通りである。彼等三人が軍事外交の諸大問題に就いて、擧國一致を必要とするといふ話し合をしたるは、詰り大隈内閣の仕事が餘り不安心であるから、これを取り代へて、安心の出來る内閣とする下地と見るの他はあるまい。擧國一致は擧國一致でも言はゞ大隈内閣を除外したる擧國一致であると言はねばなるまい。要するに官僚の陰謀とか、亜人の跋扈とか、貴族院の運動とか、いろ〳〵世間に風評もあるが、大隈内閣の禍は、斯かる方面より起らずして、却てその股肱の腹心たる同會の首領加藤高明其他衆議院の各黨首領の間より出でたるは、大隈内閣にとつては恐らく豫想外のことであらう。併かし此會合の結果がものになるかならぬかは、我等の保證の限りでない。只その由つて來れる所以に就て觀察すれば以上述べた通りであらう。

内地臺灣所觀
漢城銀行專務　韓相龍

韓氏の視察記中其の企業に關する事項は既報の件の次に載する筈の處編輯上の都合にて本稿終了後順次紹介する事とせり

六、生蕃地實況

桃園廳視察の途次蕃界の一斑を踏査せんとし、同廳の好意に出でたる警察官の東道に依り、桃園より西南八哩の大嵙崁に至り、尚二十八哩を溯る蕃界の角坂山に至れり

因に桃園廳は臺北の西南十七哩にあり茶の産地として名高し、全島製茶の産額七百萬圓の七割は同管内の産出なり、臺北より汽車約一時間餘にて達す又大嵙崁は桃園支廳所在地にて人口約六千人を有せり

此行程敢て短かゝらざるも、幸に桃園輕便鐵道公司經營の『トロ』ありて一般旅客及び貨物運搬の便に供せり。桃園より大嵙崁に至るは一時間半乃至二時間を要し、大嵙崁より角坂山迄は三時間乃至五時間を要せり。桃園大嵙崁間は複線式にして他は單線式なり

『トロ』の形狀は長さ五尺、巾三尺、臺輪高四尺位の臺車及び木製箱にして二人の苦力之に乘り、而して一人若くは二人後押をなし、平坦の地は快走すること勾配の急なるに至つては（一度により三千度の勾配もあり）時に脱線は顚覆の虞あるを以て、制動機を以て操縦せり。此の『トロ』は明治四十年頃より官設にて中間品の輸送に供せしも、現在は公司に引繼ぎ經營に當らしめたり

公司は臺灣人のみを以て共同經營に屬せり。桃園大嵙崁間は稍平地にして大嵙崁市街は清冽なる江激に臨み地盤四百尺の高きを有す。同地より角坂山間は蜿蜒たる蕃界へ行路嶮險なる山徑にして海拔實に一千八百尺を算せり。如斯地盤の勾配急なるのみならず「トロ」の單線なるを以て途中來往の車臺相逢ふときは、一方の車臺を線外に卸し路を讓るを常とす。其順序の如きは人車は荷車に讓り又乘客の年少者若くは身分の卑きものは先づ之を卸すを例とせり。余等の旅行は警察官の先導ありしを以て此等の煩はなく、直行するを得たり。角坂山は高嶺峻坂にして蹲る蒼たる樹木天を覆ひ、臺灣の三大河たる上淡水溪の水源なり。此地の理蕃事務の進捗に伴ひ移住者殖ゑ警察署、三井物産會社出張所等ありて製腦上の關係より商賈軒を並べ殷賑に赴けり。角坂山は原は生蕃の根據地なりしを以て、明治四十年より討伐を開始したるも慓悍なる蕃人等は防戰能く努め討伐隊の多數死傷者を出せしが如き慘憺たる跡を留め、尚使用せし電流鐵條網の跡殘りて當年の歷史を語れり。其後四十三年に至り有効に占領するを得たり。同地の生蕃はタイヤル族にして桃園廳下の兩蕃下に棲息し、入口約三萬二千人内壯丁七千八百人ありて蕃族中最も獰猛にして勢力を有せり。蕃族は大體に於いて七種に分れ各々言語相異なりて相互通ぜざるもタイヤル族の言語は全蕃に渡りて大半通ずと云ふ。理蕃の際に同族の征服は當局最も苦心せし處なり。彼等は主に裸體にして身に纏へる衣服なし唯褌の如きものを以て下部を覆へり、折には蕃織にて製袈裟の如きを肩の一方より撒ぎ下すものあるも近來は臺灣人の服を着するものゝ往々見るが如きは、又以て進化の曙光を認むるを得べし。男女共斷髮にて男子は髏髏頭强にして脊高きも女子は概して小柄なり。而して男女共顏面に刺墨をなし男は前額に一線を描き、女は前額より兩頰に互りて兩耳に達する迄藍色を以て彩り、尚ほ兩耳の下部に穴を穿ちて竹棒又は錫輪を嵌む、一見悽愴の狀愕然たらざるを得ず、容貌及び皮膚の色は普通人と變りなきも女子には美人多しと云へり。渠等は沐浴洗面を爲すこと少なく、人工的修飾を施さゞるも往々美人を見るは所謂天然の麗質ならんか、其年齡を問へば知るものなし、數は十の餘は數ふるを知らず、又歳の新なるを識らずして眞に山中暦なく太古の民たるに似たり

金剛山寫生　平福百穗

▲豪宕なる溪谷の美は區々と聳ゆる峻峯と相俟て此の溪谷の中心を成して居る

サッポロ・アサヒ麥酒大景品附賣出

愛飲家各位の一大御德用
「一打宛買ても景品券が貰へる」

拜啓初夏の候各位益々御清祥の段奉賀候陳れば弊社醸造麥酒の販賣高年々激增の盛況を呈し候段全江湖各位の甚大なる御引立の賜と厚く御禮申上候殊に今春擧行仕候當社合同十週年記念賣出しの節は豫想以上の好評を受け期日前豫定の箱數を賣盡し締切斷行の爲め充分なる各位の御滿足を不得恐懼に不堪候處其後各方面より熱心なる御懇望難默左記の方法により壹萬箱を限り發賣仕候間倍舊の御愛顧の上京城市内並に各地販賣店より御購求の程偏に奉冀上候　頓首

■賣出區域　朝鮮全道及安東縣
■賣出期間　大正五年自六月十五日至七月十四日（但期間中と雖豫定箱數に達したる時は直に締切）
■景品付方法　札幌朝日麥酒大瓶四打入又は小瓶八打入一箱に付景品抽籤券小券四枚綴一枚進呈
注意　サッポロ又はアサヒビール（大瓶壹打小瓶二打に付左記小券壹枚を進呈其景品は各等共前記目録の四分の一とす

景品總額　四千壹百七拾九圓餘

■賣出箱數　一萬箱限
■抽籤方法　景品券は（いろはには號）五組に分ち各組共通一等より四等迄順次抽籤す
■抽籤場所　大正五年八月十五日　京城商業會議所
■景品引換場所　大日本麥酒株式會社京城出張所
■景品引換期日　大正五年自八月二十日至九月三十日

等級	品目	個數	價格	當り籤	合計金額
一等	勸業債券	貳拾圓券四枚	八拾圓	五本	四百圓
二等	貯蓄債券	五圓券四枚	貳拾圓	貳拾五本	五百圓
三等	郵便切手	參錢切手六十枚	壹圓八拾錢	一貳四〇本	貳千貳百參拾貳圓
四等	同	參錢切手四枚	拾貳錢	八七參〇本	壹千四拾七圓六拾錢

札幌朝日麥酒を不飲は
「愛飲家各位の一大損失」

大日本麥酒株式會社京城出張所

京日案内

普通（一回前金三十錢割引…）
番外（一回前金六十錢割引…）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

●富の道しるべ　山縣五十雄・村上唯吉共著　價十五錢　郵税二錢　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

●水天一定受大家へ無償讓る　京城南大門正面　救世藥舖　802

●電話至急讓受たし　京城大漢門横　中央鑛務所　399

▼古本雜誌買受と金融は▲數年の信用▲誠實の定評　京城本町電二五二七　ウツボヤ書店　320

見習看護婦至急入用希望者は自筆履歴書携帶本人來談あれ　京城吉野町元仲の新地　南森醫院　396

●店員入用　十五歲以上二十歲迄　龍山鐵道構内電車終點　龜屋雜貨店　電話五〇二番　372

●古本高價買入　●試買を乞ふ御報次第即刻參上　▲京城本町　群書堂　電話一七八一番　348

開運を望む者は本年月日に金五十錢を添へ世路に頼問す　能本市外山本通三五　白雲堂　377

病院並地方患家の付添及看護婦派遣に應ず　京城櫻井町二ノ一九一　電二五三二番　朝日看護婦會　311

●便利宿　一泊三食に付金三十五錢　●御下宿一ヶ月金九圓　仁川濱町七番地　德島屋　392

店員入用　年齡十五歲迄　簿記に經驗ある者希望者は履歴書携帶午後八時來談　京城南大門通四　德本支店　391

番外

自午前八時至午後五時　普通診療　自午後五時至午後十時　實費診療　京城吉野町元仲の新地　南森醫院　397

恩給年金　遞送料低利立替　特別御便利に如何樣にも御相談仕候　何年分でも　京城若草町百六番地　西村商會　398

好職　利益多大美術ゴム事業　老幼男女誰でも出來本業又は副業に適す志望者は來店又は郵券十錢送れ案内書及製品見本急送呈す　京城太平通二大漢門前　太陽ゴム商會　384

これからが下痢の時季　●赤玉は第一特效藥　京城旭町一　淺野樂天堂　343

糸造花講習　自六月十日至六月三十日三週間　自午後七時至午後十時　京城明治町筋　電一三五九番　尾琴屋　801

●事務員入用　筆算商業に熟練なる者市内確實なる保證人二名を要す希望者は履歴書携帶　姓名在社　390

新築貸家官吏向　家賃十二圓以上十六圓まで數戸　初音町一二〇〇番地　電話一八〇六番　野中　383

京城春川間乘合自働車　賃金片道四圓　●京城發午前八時　●春川發午前九時　京城水標橋通り　京春自働車商會　電話貳壹參八番　支配人　松田壽男　50

分析　礦物各種　坂元分析所　京城太平通二ノ二二五　電話一三四四　358

●京城春川間自働車　賃金片道四圓　●京城發午前八時　●春川發午前八時　南大門通一丁目　廣橋自働車組　電話二一九番　主務　金正調　322

恩給年金類立替　吉田屋　京城本町二（京城銀行横小路）　347

恩給年金類　最低利立替　市内土地擔保低利金融す　京城南大門外（旭町）　山口屋　339

内科　小兒科　大和町一丁目（日の出橋下ル）　爲春堂醫院　院主　古城　356

東京植松京城出張所　修理部　萬年筆は如何なる部分にても即時修理

醫科大學病院御用　純良　赤門葡萄酒　滋養補血ニハ赤門葡萄酒ニ限ル　各地有名藥店酒店にあり

京城壽座前　値段技術勉强地方は送料頂きません

社員募集　明治公債株式會社平壤出張所　主任　川上啓之介　平壤本町六番地

新刊書御案内

書名	著者	定價
大增補模範英和辭典	畔柳外	特一八〇
新英和辭典	同	特一〇〇
實用ペン習字帖		一二〇
新式圖案寶典	鈴木寅次郎	一六〇
教育界に表裏		八五
新體二千六百年史	白柳秀湖	特一五〇
增補二千五百年史	竹越與三郎	二五〇
趣味の日本史		一八〇
理水及砂防工學本論	諸戶北郎	一七〇
實際必讀法律講義		特七五
春浪快著集	押川春浪	一三〇
俳句のちかみち	内藤鳴雪	八〇
旅とふる郷	若山牧水	七五
男讀むべからず		七五
妹の見たるニチエー		七五
人の裏		八〇
誰にも作れる野菜畑		一〇〇
うた姿		一五〇
優生學		一二〇
ショウペンハウエルの研究		一八〇
花摘		五〇
おらが春	一茶	五〇
第二の女	小山内	四〇
與の…		三〇〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六

岑春煊の要求條件

岑春煊氏は個人の資格を以て黎總統に電報し十箇條の要求をなせり其要領は帝政主唱者懲罰、舊約法の復活、舊國會の召集地點は軍隊の牽制を受けざる地點を選ぶこと、現內閣を改造すること、湖北人を聘用せざること等を含めり（北京特電）

米國對支借欵不應

北京駐在米國公使は本國の訓令により八日支那政府に對し米國政府は支那南北妥協成立する迄は借欵を以て支那を援助すること能はずと聲明したり（北京特電）

鹽稅剩餘と四國公使

鹽稅剩餘金に關し十二日日、英、露、佛公使會議を開き其の用途を制限する條件に付き協議を凝せり（北京特電）

ク郊外の爭奪戰
獨軍の牽制運動隨所に擊退さる

墺軍は獨軍の增援を得てタルノポールの北方及びブクザワクズの北方に於て最も頑强たる抵抗を試み且つ猛烈なる逆襲を行ひつゝあり露軍はテレボント及びザレストチキに到着したりクゼルノウヰッチの郊外にて爭奪戰開始され多數の爆發起れり露軍がクゼルノウヰッチ附近にて得たる捕虜の數は今や二萬一千名の多數に達したるが之等の捕虜は皆墺牙利軍步兵及騎兵なり獨軍はリガ、ヤコブスタット及びブリスヴイテイ湖の附近の西北方前線に於て重大なる牽制運動を試みつゝあるも隨所に擊退され獨軍は僅かにクレヴオの南方なる一森林の一部を占領したるのみ（露都電報）

祭粢料御下賜

[illegible]にては去月三十日北海に於ける英獨海戰の際クイン、メリー號と共に沈沒戰死せる海軍中佐下村忠助氏の功績に對し左の如く祭粢料御下賜の御沙汰ありたり少將級以下の佐官にして祭粢料を拜受するは破格の恩典なり（東京特電）

一金五十圓也　祭粢料

駐米大使任免

駐英特命全權大使井上勝之助侯歸朝に付駐米珍田大使其の後任となり前墺國に駐劄し目下待命中の佐藤愛麿氏米國駐劄に決し十三日左の如く發表ありたり（東京特電）

特命全權大使子爵　珍田捨巳
英國駐劄被仰付免米國駐劄

特命全權大使　佐藤愛麿
米國駐劄被仰付

日滿送貨近況

本年三月以降滿洲より朝鮮鐵道を經由して輸送せられし豆粕の數量は六月六日迄の總數量一萬四千五百三十五噸にして其內譯は

鐵道院線着　一三、一九七噸
鐵道局線着　一、三三八噸

にして更に月別として其內譯を見るに左の如し（但し六月は六日迄）

▲鐵道院線着

	安東發	奧地發	計
三月	五五二噸	…	五五二噸
四月	二、二八〇	四五九	二、七三九
五月	六、一四四	二、八三五	八、九七九
六月	七九二	一三五	九二七

▲鐵道局線着

	安東發	奧地發	計
三月	一八二噸	…	一八二噸
四月	六五七	…	六五七
五月	三七五	…	三七五
六月	一二四	…	一二四

而して之が月々の通計を見れば如何に鮮鐵の利用せられしかを窺ふに足る左の如く

▲三月　七三四噸▲四月　三、三九六▲五月　九、三五四▲六月　一、〇五一

尙右の內院線着總數量一萬二千百九十七噸の行先地は九州一圓を主とし山陽線は下關の七百八噸を除けば他は僅に尾道二車、柳井津及び宇品各一車に過ぎず此外長野百六十二噸、四日市百四十四噸あり九州線の內主なる行先地は門司の四千六十五噸、羽犬塚千二百八十七噸、中津七百六十八噸、川尻七百卅八噸、熊本五百三十一噸、博多四百五十九噸等にして是等院線着數量の內奧地より滿洲へ輸送せるものは三千四百廿九噸にして全輸送量の二割六分に當り其發驛別數量を檢するに左の如し

鐵嶺一、一三四噸、開原九九九噸、奉天九九四噸、公主嶺四三二噸、四平街一六二噸、長春一〇八噸

本月も尙豆粕需要期節なれば相當の出荷ある豫想なるが目下申出ある分左の如し

金　一五〇車　三、六〇〇噸
井　二五車　六〇〇噸
三　非　計　一七五車　四、二〇〇噸

挿秧頗る好況

朝鮮內地は各地とも昨今漸く早苗の挿秧に着手せり、本年は晚春の候より降雨繁く水量豐富なりし爲め苗床に水の缺乏を訴ふるが如き虞なかりしのみならず、其後も引き續きて順當の降雨あり水量充分なれば例年の如く挿秧不能を來すが如き地方あらざる可く、從つて本年は昨年に比し作付反別に尠からざる增加を見るならむと豫想さる、兎に角鮮內は概して挿秧早きを得策とするが故に目下の狀況は極めて好都合に進捗しつゝある如し

鹽の需給と製造

朝鮮に於ける鹽の需要高は年額概算二億斤なるも廣梁灣及び朱安の總督府鹽田の生產額は一年六七千萬斤に過ぎざる爲め少なくも一億斤以上支那山東省鹽の輸入の必要あるが本年も既に支那鹽の輸入期に入り朝鮮仁川大連青島三角航路の復航は每航山東鹽の朝鮮積込みにて船腹の餘力を剩さずと本年總督府朱安鹽田の作業は雨量頗る多き爲め障碍少なからず尤も六月上旬の採鹽高は三十七萬七千斤にして之れを既往同期間の收量に比すれば最多なれど三月以降の生產累計は百六十三萬九千斤に過ぎず之れを前年の二百二十八萬九千斤に比し二割八分前々年の二百九十五萬五千斤に比し四割四分の減少を示せり現業員は只管生產の增加に努力しつゝあるも天候に勝つ能はざるは止むを得ずとすべし但し廣梁灣の製鹽は同地方天氣順調の爲め成績佳良なる由

慶北繭好況
氣配强硬今後昇騰乎

慶北繭出廻期は十五、六日頃より二十日頃迄が最盛なるべき見込なるが早手のものは既に六七日頃より日々若干の出荷あり、品質良好にして蔚山にては七日八日の兩日に於て生繭十斤に付き最高五十五圓、最低三十四圓五十錢、平均四十六圓にて百三十貫を尙州にては六日より八日に至る三日間に於て最高六十圓、最低三十八圓、平均五十圓强にて二百五十貫を、成昌にては最高五十七圓、最低三十八圓、平均五十圓弱にて百四十貫を何れも取引あり、又た大邱にては十一日初めて若干の出荷ありしが之れも最高五十七圓、最低四十七圓五十錢、平均五十二圓の高價を以て賣買せられ氣配甚だ强硬なり、今後出盛期に至らば更らに相場の昂騰を見る可しと豫想せらる

屠場獨占經營
食料供給の一進步

京城府が私人經營の京城屠場を約三萬圓を以て買收したるは既報の如くなるが而て經營者內田氏と京城府との間には未だ現金の授受を行ひ居らざれば尙ほ府の經營に移らざれども府は目下前記買收費三萬圓の起債認可を其筋に申請中なれば其認可を得たる上は既に交渉濟となり居れる某銀行より借入れ內田氏に交付したる上實際の買收を了する筈なり京城府現在其所管に屬する新設里、阿峴の兩屠場を經營して年額約一萬二千圓の歲入を得居りたるが今回更に京城屠場を買收して之を經營するに至らば少なくも二萬四五千圓の收入を得るに至る可し京城の屠場は之にて全部京城府の獨占事業となるものにて將來府の市場直營と共に市政上一段の效果を擧ぐるに至るべし

染料問題

人造染料の技術的說明
中央試驗所技師　今津明氏談

次に人造染料とは如何なるものにして、如何にして之を製造するかを簡單に述べんに、人造染料はその數一萬種以上に達すれども、之れ等染料は其要素たるべき色素九百二十一種を適當に配合して得らるゝものにして、製造會社の異なるに從て同質異名のものも亦少なしとせず

■原料—補助原料—中間體—色素—染料

▽色素の化學的分類　今これ等色素を色素化學上の見地より分類せば左の如し

類別	色素數
アゾ色素	四七四
トリフエルメタン類及び關係色素	一七五
アンスラキノン類及び關係色素	一一六
アヂン類及び關係色素	八六
ピロニン類及び關係色素	三四
藍及び關係色素	四八
硫化色素	五二
雜色素	三六
合計	九二一
原料	一〇
中間體	三〇〇

以上色素の主要原料はコールタールを分餾して得らるゝベンゾール、トルイン、石炭酸、ナフタレン、アンスラセン等僅かに十種に過ぎざるものにして、コレ等の原料と補助原料とを化學的に變化して中間體を製し更に中間體と中間體とを作用せしめて色素を作るものにして、これを適當に配合して染料となし市場に出すものなり。故に染料製造工業は十種の原料より三百種內外の中間體を作り、これ等中間體を作用せしめて九百二十一種の色素を製造する一大化學工業にして、此等中間體の多くは其儘或は僅かに化學的に變化して醫藥となし、或は爆藥となし或は寫眞藥となすものなれば染料製造は何れも是等を同時に製造販賣しつゝあり。

▽中間體製造の困難　染料製造工業の困難は一にして足らず、就中中間體製造は困難中の困難なるものにして、原料より中間體を得るには先づ補助原料の必要あり。その主なるものはメチールアルコール、エチールアルコール、濃苛性曹達、醋酸、硫酸、無水硫酸等にして、苛性曹達、無水硫酸及びアルコール類は內地に於ては其の供給充分ならず從つてこれ等の工業と相待つて發達せざるべからず。今假りに原料あり補助原料あるも中間體を作るには技術の必要あり、一般化學工業に技術の必要なるは勿論なれども、殊に染料製造工業は技術の發達如何に支配せらるゝこと最も大なり。英國の如きは原料は之を豐裕に有し、之を獨逸其他に輸出するの地位に有りながら、猶染料を製造し得ざるは、如何に染料製造に技術の必要なるかを示す好適例にして、我國は化學工業上の技術に至りては未だ後進國たるの域を脫せず、今後善良なる技術者を養成するに努力せざれば、染料及び藥品の製造は到底之を望む可からざるなり。

咸鏡線工事狀況

五月末に於ける咸鏡線清津會寧間の鐵道建設工事概況を聞くに清津章興間十四哩七分は土工及び橋梁工事を通じて六分四厘通成工し章興古茂山間の十三哩九分は土工橋梁工事を通じて八分六厘古茂山全距離十一哩八分は同じく七分二厘通り共に成工せるか清津起點十九哩八分（廳通洞附近）迄は既に軌條の敷設を終り建築列車を運轉しつゝありと

漢農の貸出預金

漢湖農工銀行本支店を通ぜる五月の貸出及び預金現計を聞くに一般金融界の趨勢に伴ひ漸次預金增加貸出減少しつゝあり乃ち預金は前月の百五十萬一千六百圓に比し三萬圓を增加して百五十三萬五千五百圓となり貸出は前月の三百六十萬四千百圓より二萬圓を減じ三百五十八萬三千二百圓となれり

大正水利組合起工式

不二興業會社中心となり計畫せる全北大正水利組合は蒙利區域七千町步以上に達する大事業なるが去る五日附東拓に百三十萬圓起債の件總督府より認可あり同日其の幾部の現金授受をなせし由なるが組合にては諸種の準備進捗せしを以て來る二十二日午前十時より京義線[illegible]附近に於て盛大なる起工式を擧ぐる事に決定せり尙ほ工事は既に夙より着手しありて大正六年九月末迄には大體工事を竣成する豫定なりと

京畿地方果樹成績

京城地方に於ける本年の果實作を聞くに氣溫は果樹に對し不良ならず春來雨三回颱風あり多少樹枝の害を蒙るものありしも事なしく云ふに足らず第一昨年不作の影響は從つて本年の作柄を良好ならしむるものゝ如く目下の所結實期に入れるが恐らく豐作なるべしと

平壤五月貿易

平壤に於ける客月中の貿易額は輸入二十六萬二千四百八十九圓輸出三萬九千二百五十八圓合計三十萬一千七百四十七圓にして之れを昨年五月の貿易額二十三萬一千一百七十九圓に比較すれば輸入に於て四萬九千四百三十八圓輸出に於て二萬一千一百三十八圓合計七萬五百六十八圓の超過を示したり輸入の重なるものは綿布打綿類一千七百九十九圓綿絲約二千一百十九圓生金巾及びシーチング一萬五千七百七十圓マッチ一千四百八十七圓爆發物三千一百五十五圓麥酒三千六百八十六圓砂糖九千七百七十七圓小麥粉四千六百六十九圓果實三千三百九十八圓輸出の重なるものは米千圓牛皮三萬三千四百四十三圓なりと云ふ因に昨年五月に比して輸入減の著しきものはビールの七百十二圓なり（平壤）

憲兵補充員派遣

憲兵隊司令部にては本年四月十六日內地より百五名の補充憲兵上等兵を募集し同部內に於て教習中なりしが愈其教習を終り十二、三、四の三日間に亙り各道警務部へ其々派遣すべしと

水道の各戶調査

京畿道にては上水使用者の各戶調査を行ふ必要を生じたるため此程より六名の本府其他巡視員人等を全部に手配し巡視中なるが給水者と使用者との間に意思の疏通上多大の效果あり本年夏期斷水の豫防策としては機宜の處置なるべく同調査は本月末日を以て全部終了の筈

岡田信利氏の送別會

昌德宮勸業[illegible]物園主任岡田信利氏は近頃都合に依り今回李王職技師の職を辭して歸國せらるゝに付き[illegible]の發起にて十四日午後六時より送別會を開くべし會場は南山町京城ホテル出席者は高等女學校內佐々木氏（電話一九五番）宛申込まれたしと

獻金申込者氏名

▲金五十圓　關繁太郎▲金三十圓　進辰馬▲金十圓　泉山三郎▲金三十圓　城六太▲金五十圓　古城菅堂▲金六十七圓三十錢　明治町總代城六太▲金十圓　平田智惠人▲金四十七圓七十錢　新町總代安川伊吉▲金五十圓　岡裕植▲金十圓　山岸祐太郎

人事消息

▲曾根[illegible]郎氏（平南第二部長）入京中の處十三日夜退京
▲中村銀五郎氏（中村組總支配人）同上
▲吉村謙一郎氏（慶北第二部長）同上
▲內田隆氏（咸南第二部長）入京中の處十三日朝退京

■南吉北語■

樞密院で紛擾を起した工場法は都合四十二條から出來て居る▲四十二は四二で即ち死にだ樞密院で葬られかゝつたのも無理のない話だ▲愈々實行となつて死なねばよいがとは口が惡い▲歐洲では交戰列國とも國產獎勵に力めて居るが英國では戰時發明の獎勵に腐心して居る▲最近に出願した發明は鵝の飼育だ相な▲此の鳥は土を啄く習慣があるから之を飛行機から幾千羽もクルップ製砲所に放つと煙突を啄き壞して大砲の鑄造を妨げると云ふのだ▲差し當り鵝は朝鮮の名物英國へ大輸出でもしては何うかナア▲此間歸朝途中入京した林大使が或る人と四方山の話の末▲朝鮮の山も大分靑くなつて見るのは愉快だが唯吾友の頭が山と反比例に段々赤く禿て來るのは心細いよは皮肉だ▲一時世間に響いた郡司大尉の報效義會も今は千島で微々として振はず▲本部は形丈け占守島に殘つて居るが▲義會の連中は皆々はキリストの如くで開拓者の末路は凡て振はぬが常だ犧牲に終る處に天分があると力んで居る相な▲併しカムサツカの漁權を獲得した手柄もあるから其の義會は買つてやるべしだ▲明治神宮奉贊會寄附金に就て過日打ち合せをした時某朝鮮貴族は目下大分窮境にあるから寄附の勸誘は見合はさうと云ふことになつた▲處で其貴族は何處かで此の事を聞くと其れは不都合だ▲世の事と異つて明治神宮の事だから吾輩貧なりと雖も奚ぞ喜捨を惜まんやと直に若干の寄附を申込んで來た▲係りの面々迄も實に先帝の御遺德の有り難さに感泣せぬ者はなかつた相な

●總督府公文添付

平福畫伯作品展覽會

東都の畫伯平福百穗氏朝鮮鐵道局の委囑に依りて客月下旬來鮮爾來二週餘日天下の名勝新線の金剛山を探り歸來畫伯が雄渾精緻なる墨跡は揭げて連日の本紙朝刊第一面に在り我社は此機會に於て更に畫伯の傑作數拾葉と他の雜作とを併せ近く大展覽會を開催することゝなれり豫め一般同好の士に謹告す

主催　京城日報社

●犯人は前科者

大分縣下毛[illegible]し仁川に逃走せんとしたる[illegible]の所持金なかりしより又々南大門通[illegible]貸（二二）は六月五日自宅溫突の焚口に墜込み燒死を遂げたり又京畿道加耕大興面[illegible]を通り試漁せしも餘り面白き漁獲も無かりしより今後は北韓的漁族多[illegible]孫洞[illegible]住元電車運轉手李文琪（三三）は京城電氣會社の五十五號電車に勤務[illegible]州通り迄運轉し右の風呂敷包を西大門町一丁目[illegible]るか六月二日夜松月洞[illegible]に侵入し石段下に[illegible]（三）福岡縣門司市內堀川町生れ京城[illegible]方法院にて正太郎は懲役十[illegible]月同[illegible]は同三箇月（三年猶豫）の[illegible]

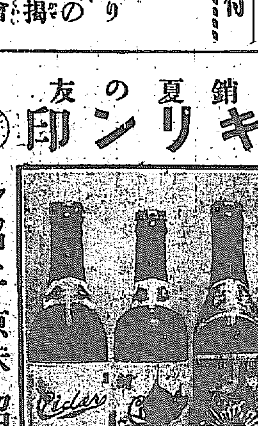
銀行會社　官吏鐵道員　養成　講義錄
卒業者は各官衙會社に推薦す 勿論全國へ[illegible]
[illegible]

日韓書房　新版報告
長編講談　大久保彥左衞門　定價三十錢　送料八錢
少年通俗教育會　幼年百話　お話の庫　定價二十錢　送料八錢
朝日新聞社發行　野球年鑑　定價三十五錢　送料八錢
巖谷小波著　俳諧便覽　[illegible]
三省堂發行　大增補　模範和英辭典　[illegible]
京城本町二丁目　日韓書房

朝鮮語會話　定價金八拾錢　郵稅六錢
朝鮮總督府警察官　普成法律商業學校講師　西村眞太郎著
初版賣切れ三版大增補發賣
受驗者必携の資料●袖珍總クロース四百頁餘美本
江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や初版壹萬部を賣盡して尙要求盛なるに付改訂大增補を行ひ再版を發賣するに至れり朝鮮語の習得は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最も親切なる解說者たり是非共一本を机上に供へられよ
發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
大取次　大阪屋號　日韓書房　巖松堂　各地支局書肆

第二回 一回 [illegible]
生花講義錄
師の口授に代ふ[illegible]短期速成最新式通信教授古來の秘傳[illegible]
規則見本送料郵券二錢送れ●東京四谷須賀町●日本華道會

陸軍御用達
優等　清酒
京城 發賣元 釀造元　三巴酒造場
太田支店
平壤支店　電話五一二
特約販賣所ハ朝鮮及滿洲樞要ノ地ニアリ

銷夏の友
◎キリン印◎
▼サイダー
▼シトロン
▼召上て涼味を招き
▼飲んで心氣爽快

氷　朝鮮製氷社京城販賣部　山下磯吉
製造元　京城櫻井町（大正館前）　日の出商會　電話八四二

…を先より代金三圓を取立て之れを橫…彼れ會議を恐れて五月一日無斷で出…

●溺死と頑死　平安南道安州郡新安州面元興里住安貫貝二女載…出漁せし朝鮮海女百餘名は青島近海…

●手の長い運轉手　京城府唐…したる際を覗ひ之れを隱匿して…洞製紫倍(三)は前科…ある曲者な…

●小泥…津平野町生れ住所不定の池田正太郞…て京城地…

場末の晝

●軍旗を捧げて

北鮮に於ける諸部隊の巡閲

地方官民の歡迎

【盛な祝賀會と提灯行列　山間僻地に躍へる日章旗】

第十九師團長　立花陸軍中將談

龍山及び平壤に於ける軍旗授與式に對し各地方官民が熱誠に此神聖な式典を援助せられたるを感謝して直に北鮮の諸部隊に同樣軍旗授與の爲めに龍山を出發したのは先月の十二日である然して

咸興及羅南其他

北鮮各地方の軍隊所在地の官民の軍隊及び軍旗に對する歡迎の態度の熾烈なる正に白熱狀態に達せるには感銘に堪へなかつた順序として先づ咸興官民に接したのだが西湖津に上陸すると祝賀會々長たる寺本咸興學校組合管理者の代理として畑本咸南新報社長の出迎に會ひ咸興に於ける軍旗歡迎に對する熱誠なる模樣を聞き知た三百名の會員から成る祝賀會は

盛に各般の準備

に忙殺されてゐたが前日來の大雨の爲めに總ての計畫全然齟齬の止むなきに至り止むなく更に計畫を變更して目下頻りに準備中である爲めに會長が出迎に來る事が出來ず代理をして來たと云ふ話であつた愈々咸興に著けば既に沿道から消防夫、學生、軍隊は勿論の事官民有志數千堵列して軍旗を迎へて居る予は著と共に軍隊に於て將校の伺候式をやつてゐると正午には前場に

祝賀會員參集し

て予の到著を待つてると云ふ出掛けて行けば餘り廣くもない場内に三四百名の群集が鮨詰めと爲つて熱誠の色を示し發企人は熱烈な調子で軍旗軍隊歡迎の辭を叙べ辨當を開き餘興の花を咲かせる予は一場の挨拶をして陛下の萬歲を唱和し道長官は師團、加藤聯隊長は咸興の共に萬歲を三唱して散會したが其夜は更に官民有志百數十名から成る大歡迎會がある一方市中では

内鮮人を問はず

山車を引くやら假裝行列、提灯行列、旗行列をやるやら其れが皆一々予の宿舍の前に來て萬歲をやり、踊りを踊つて行くと云ふ有樣で到頭十二時迄は寢られなかつた翌十五日も亦同樣の騷ぎである聞けば市民は爲めに三日間業を休んで熱狂して軍隊を迎へたのだと云ふ十五日は晴天無風、午前中に授與式を行つた參觀人が近在から集つて來て其數は萬を以て數ふる許りである軍旗を捧持した軍隊は

式場たる練兵場

から兵營に向つたが沿道に堵列して之を參觀する群集は實に涙を流して感じ入つてゐた予は則ち露營的野宴を催ほして之に應じ其翌十六日出發の豫定であつたが丁度驟雨があつて海上風波激しく遂に十八日迄滯留するの止むなきに至つた十八日西湖津出發廿日朝清津著、直に羅南に向つたが雨中にも拘はらず軍隊の視察を行ひ終れば羅南の

官民は四五百名

娛樂場に於て軍旗並に軍隊歡迎の大祝賀會を催すと云ふので列席する鏡城學校組合管理者は發企者を代表して祝辭の朗讀を爲し一週間以前から練習を積んでゐたと云ふ藝妓四五十名の手踊りがある仲々の大賑ひであつたが若し之れで晴天ならば怎麽に盛んであつたらうと氣の毒に堪へなかつた然るに廿二日は天明と同時に快晴、兵營内に舉式、式後例に依つて營外で露營的野宴を張り靑天の下に鮨を頰張りビールを飲み

數時間の樂しみ

を爲した其翌廿三日は羅南を出發して會寧に向ふ沿道に於ける民家は如何なる山間僻地と雖も皆國旗を掲げて迎へてゐるのには一驚を喫した其れが啻に内地人のみに限らず朝鮮人も亦然りである　陛下の稜威を偲び奉り實に愉快此上もない（つゞく）

●海賊三十六名を逮捕す

昨年九月以降數回貔子窩管内大長山列島沖合に海賊襲來し漁船又は戎克を脅かし金品を掠奪し去るより其都度警察官は之が逮捕に苦心したるも巧みに手配の網を潜り居たるが此等の海賊團は何時の間にか貔子窩東街支那宿李王春方に立ち廻り居たるを去る七日午後三時頃遂に我警察官の探知する處となり充分の警戒線を張り一網打盡の快擧にて貔子窩管内大長山島會哈揚家屯元船夫目下革命黨員鄧鴻君(三二)同小長山島梁家屯船夫梁基敏外十名、金州管内大孤山會蠶家屯漁夫殺人功外八名、金州管内小孤山會姜家溝漁夫王德春外七名金州管内大孤山會北紫溝漁夫唐寶盛外六名合計三十六名を難なく逮捕するを得たりと（營口）

不良少年

□何うして救濟するか□

□感化院の設立が必要□

鍾路署長　松井警視談

京城に於いて不良少年の跋扈が年を逐うて甚だしくなつてゆく事は年々の犯罪統計が明かに示してゐる通りで誠に慨歎に堪へない次第である

▽その取締に就いては私の管内では出來得る丈力を竭し彼等の行動に關しても可なり細微に亙つて監視を怠らないけれども更に進んで是等浮浪徒の勦滅を期せんとするには過日京城に何が欲しいかの欄内で松寺檢事正が言つて居られた通り二十歳未滿の者を收容する少年感化院の設立が必要であらうと思ふ、然して

▽收容者に對しては强制勞働を課しその院長たるべき人には絶對的の警察權を有たしめ尚上更に法律上の親權を與へて置き嚴格なる規律の下に或る時は嚴罰を行ひ或る時は褒賞し恩威並び行なうて賞罰を明にし純然たる家庭的の感化院とする、その場所の如きも島、或は島嶼又は大なる荒蕪地の如き所を選び

▽その開墾に從事せしむる樣にする、收容者中の弱體者に對しても座食せしむるが如き事をせず、適當な手工でも課する樣にしたい、その設立方法も東京大阪に於けるそれの如き慈善行爲に據る事は當地方の如き民度の所にあつては困難でもあり好ましくない事である、私の考へとしては是非之れを

▽國家的の事業として經營して欲しいのである、此の事に就いては曩きに總督府に意見書を出した事もあるし司法部内の應援もあるので何時かは實現を見るに至るであらうと信じてゐる、今日の如く警察が如何に不良徒に對して取締りを勵行したところでそれは到底消極的の手段に過ぎない、勢ひ積極的に不良徒を驅逐しようとするには斯くの如き感化院の力に俟たねばならぬと思ふのである

●驅逐用飛行機の處女飛行

所澤飛行場にて豫て上り敵機驅逐用複葉飛行機製作中なりしが此程漸く組立を終りたるを以てカーチス式九十馬力發動機を取り付け十三日永田中尉搭乘處女飛行を行ひたるが試驗の結果安定板ブレーキの取付に不完全の箇所あり豫定の速力を出す能はざりしが概して成績良好なりき（東京特電）

●亂暴なる巡警

鐵道工夫を亂打して引致す

從來安東縣支那町附近の鐵道線路に屢々多數の石を羅列して危害を加へんとせる者あり當局にては嚴重に警戒中の處十二日午後三時三十分北滿鐵線路工夫三名が十四五歳の支那人三名の現行を押へ中一名を逮捕して我が官憲に引き渡さんとする處に十數名の巡警現はれ不法にも亂打し且つ工夫三名を引致せるに依り急報に接し古藤警務署長は署員十餘名を率ゐ守備隊憲兵隊よりも亦廿餘名出動して支那警察廳へ嚴重なる談判を開始し結局十三日中に彼より關係者の處分案を携へて我が官憲に陳謝せしむることに協定して同夜九時頃引上げたり（安東縣特電）

●草刈鎌で良人を滅多斬

江原道金化郡近北面黄龍洞李德辰(三八)は華川邑内より劉姓女(三十)を娶りて同棲中常に風波絶わず同女は度々離婚を迫りたるも應ぜずして其儘にて打過ぎ居れる内華川邑内より五月三十一日の夜劉姓女の實母が來りて又も離婚問題にて爭論を惹き起したれば德辰は泥醉して就寢したるに熟睡せるを見澄したる劉姓女は鋭利なる草刈鎌を以て夫の面部に十四箇所の重輕傷を負はせ更に頸動脈を切斷して即死せしめたる爲め金化憲兵分隊の手に取押へられたるが同女は以前にも一回夫に切つけたることありと

●二兇漢の就縛

畑中にて人妻を辱しむ

慶北榮川郡丹山面丹谷里生れの金臺瑞又は金敬烈事金慶烈(四二)は明治四十五年京城控訴院にて强盜罪に依り金慶烈の名義にて懲役五年に處せられ服役中恩赦減刑に依り出獄したるが昨年八月中金義城尹炳灝なる者と共謀し昨年八月某夜江原道江陵郡下邱井面九切里金元甫方へ闖入し元甫及び其長男二男並に宿泊人鄭元日を縛り脅迫の上金十五圓外二點を强奪し其夜同道庭善郡北面松川里なる尹炳灝方に赴き慶烈は同家の別間に居住せる崔宗集及び同人妻姜錦雲を脅迫して金品を奪取したる上錦雲を戸外の畑地に引出し辱しめ更に義城と共に附近の朴相來方に押入りて來宿せる崔某外二名及び相來を縛し脅迫したる末金十二圓餘を强奪逃走中此程慶烈と炳灝の二名は逮捕されたり

●長崎縣人會の發起

京城には長崎縣人の在留者尠からざるが未だ縣人會の組織無きを遺憾とし一部人士の發起に依り來る十七日の土曜日午後四時より南大門通泉商會隣ファミリーホテルに於て發起會及び第一會を開催し餘興として平山牧場寄附の長崎名物蛇踊及び浪花節等數番ある由なるが會費は金二圓にして出席者は左記の中最寄に申込まれ度しと

野多金光堂、朝鮮公論社、牧此愛館、盛崎本支店、松浦屋、伊東組、金剛屋、林田金次郎、京城及び龍山平山牧場、十八銀行、江頭鋼院、村山商店、ファミリーホテル

●新彰組合披露會

藝妓取締規則によつて從來三牌と言はれ娼妓として扱はれて居りし詩洞の賞花室(貰座敷)連中は今回新に新彰組合といふを組織し妓生として一通りの藝を有するもの〻みに限り第一種藝妓の許可を得たるを以て十三日午後三時より明月館にその披露會を催し茶洞、廣橋、兩妓生組合取締、京城券、新券、中券の各券、料理店關係者を招待したり

運動欄

▲京城振武會　と云ふのは既報本町警察署内に於ける擊劍柔道の會である愈々十三日から開場する事に成つたが其會則を瞥見するに京城在住の有志が集つて劍道柔道の鍛錬により志氣の鼓舞を計らうと云ふのが本會の目的で役員には會長一名敎師若干名、幹事五名、會計一名を置く事に成つてる會長には原田商業會議所會頭を戴く豫定だと云ふが今の處未定である敎師は差當り本町警察署及び平壤修學校の敎師を頼む事に成つた會員は申込と同時に道具料十圓を納め外に維持費として毎月金十錢宛を納入する規程で日曜大祭日を休場する事とし春秋二季には大會を催ふす筈である毎日の稽古時間は午後四時から九時迄（時に依り變更する事もある）とし初に午後四時から擊劍をやり七時から柔道をやる今日迄の申込者は柔道廿二名擊劍五十一名あるが希望者の加入を歡迎する由

□午後二時を十四時

―思ひ切つた露西亞流―

□氣象觀測などには日本でも午前午後の區別なしに『午後二時』を『十四時』と云つて了ふ呼び方をしてゐるが露西亞ではもつと區域を廣めて電信及び軍事上に迄及ぼす事になつた

□其れは一に露國交通省郵便電信管理局長ウエ、ボフウイスウイ氏の英斷であつて戰爭開始以來電報數が非常な勢ひで增加して來て其手續丈けにでも非常に多くの時間を要する。加之戰時軍事上の檢閲や何かで煩鎖極る堪へない

□其處で聊かでも分時を爭ふ時の節約が出來る料にもと露曆四月十四日から午前、午後の呼び方を止めて一日を廿四時間に呼び續ける事にした

□處が其成績が頗るいゝと云ふ事を聞いたペトログラード守備軍長は『我部に於ても豫て同樣の感を有してゐる處だ』と云ふので此程其制度を使用する事に成り是は又公文書類にでも何にでも一切午前午後の制をやめてしまつたと云ふ事が最近の露字新聞鐵道生活に書いてあつた

▲奈翁寫眞　十日から諸座に映寫を開始した奈翁寫眞は舊百日天下と黄金の十字架は活動辯士界の、驍將ともいふべき齋藤、櫻田兩名の説明と相俟つて頗る好評を博してゐたが十三日を以て終了したが十四、十五の兩日仁川基督教青年會の主催で同地に興行

し引つゞき龍山、大田、大邱、木浦、郡山その他を巡業する由

▲大正館の伊賀越　同館にては愈三日中に特別大興行として 三大復讐の一なる伊賀大仇討を上場すべく右は同國の渡田大助以上の大寫眞にて全七卷一萬三千呎に亘り主人公たる荒木又右衛門が武勇修業に諸國を遍歷する快活なる事實より壯烈なる渡邊數馬に助勢して男の仇たる河合又五郎を討果すまで細大漏さず殆ど又右衛門一代記を併せ回るの感あり實に稀劇寫眞の壓卷にて 書面赤…明十五日より映寫すべし

▲浪花館　京山若丸、桃中軒如雲一行の浪花節にて相變らず喝采を博し居れり

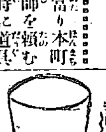
▲黄金館　同館記念の特別興行なるアルタス及不如歸が呼物となりて毎夜大入を續け居れり

道回渡歐の途次入京した東北大學の八田博士は平素の無頓著にも拘らず大鞄を二つ携へて居る▲堂夫博士が著換へを有つて行く譯でもあるまいと思つて蓋を開けると中からは鯨の竹と尾長鳥が出た相な▲博士はまた林東拓理事の邸に泊つて『虱の旦那』なる尊稱を頂戴した▲といふのは昨年の三月博士が蒙古から露都西比利亞を經て京城に著いたとき林理事の邸に澤山の虱を置土産にして往つたからである▲道回も釜山からの電報があつたので『オイ八田博士がやつて來るよ』と主人が云ふと『へイ、あの虱の旦那ですか？』は大笑ひ▲併し博士の抗議を聞くと斯うである『我輩はあの時大阪朝日の鳥居素川氏方へ泊つたが虱は一匹も遺して居ない▲のみならず鳥居の言によれば林は曾て在學舍時代には池田君と共に有名な虱黨の一人である▲曾ては自分の虱退治をする爲めに密かに他人にまでも虱の太い奴を分配した先生である▲鬼膽男が今更他人の虱を語る勇氣があらうか』と酷い衝惡露顯の手紙を林理事夫人の許まで送つた相な

讀者文藝

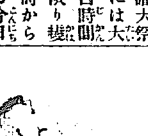
（一等には十錢□の書籍切手を呈す）

▲飲め豬　京城北米倉町　牧野利雄



○コップ（一等）

▲佳作　京城毛谷孤山、同 八谷正英（先憂）、長延李西求、龍山 茂鬼、鎭南浦篠本 正三郎、龍山小澗 佐八、次郎三木柰六

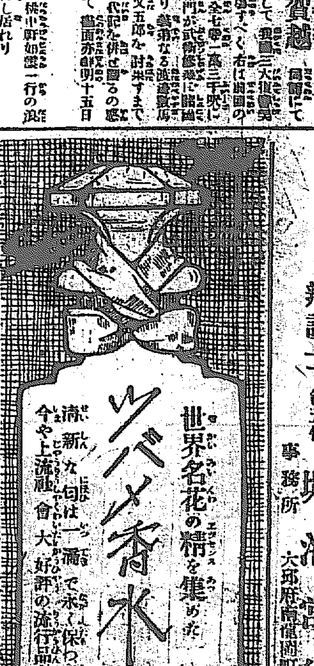


『次回題』

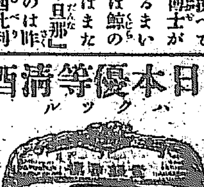
狂歌「鰹」　同十二日　同十五日
俗謠「鶉」　同十三日　同十六日
川柳「曇」　同十四日　同十七日
物は付「目移りになるもの」は　同十五日　同十八日
一口噺「朝鮮に關して」　同十六日　同十九日
次回謎「生ビールとかけて」はめ　同十七日　同二十日
締切十八日發表二十日

■募集規程　▲用紙は端書又は同樣の用紙▲一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事▲總て一種二句以内の事▲此規程に違はぬものは沒書

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士　從五位　堀池常作
事務所　大和町…



移轉
京城永樂町二丁目七十六番地(元赤門通)
八千代生命保險株式會社京城支社
電話四二一三番

大日本優等清酒
ハクツル
品質純良
衛生無害


釀造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店

●ビールの友　海老あられ（此廣告切抜き御注文は格安に取引仕候）
▼かきもち　花あられ
龍山老松町　製造卸商　谷野商店

時代の要求により創製の新營養劑（醫家購用諸症）
最新鐵劑　フエロール　譯名 滋精
梅毒症新劑　沃度フエロール
皮膚病新劑　アルゼンフエロール
氣管支症新劑　グヤコールフエロール
フエロール　大 半月分 一圓七十錢　小 七日分 一圓
沃度 アルゼン グヤコール　各 大 半月分 一圓…　小 七日分 一圓二十錢
○發賣は有名の各藥店にあり（代金は振替口座大阪九一九番へ拂込あれ小包送料自辨し送附す 地方は本舗へ注文あれ又は切手代用差支なし）
創業元　大阪東區道修町　藥劑師　小西久兵衛

●青竹　直輸入大販賣
並に石灰特約店
㊅志
釜山材木町一丁目　島末材木問屋
電話…

資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百參拾五萬圓
株式會社　第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一三番）
頭取　男爵　澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

女鳩

渡邊默禪

（二四）午前一時

雪の夜は次第に更けて行つた。源作は酒に對しても豪の者だつた。來てから最う一升ばかりペロリと吸ひつくしたが、それでもまだ飽いた色は見せなかつた。生駒は横濱のスタークラブでも左利の方にかけてはチャンピオンと唱はれるほどの好飲家であるが、この源作に對抗しては殆んど太刀打ができまいとみんなに想はせた。空腹に七合あまり立續けに詰込んだ生駒がいつになく酩酊して次の間に轉がつた時には、彼は猶且平氣な顏をして、ズーズーと鼻へ拔ける山形辯を無遠慮に張上げて、三人を相手に盛んに喋舌立てゝゐた

彼の話は一つとして、子爵や鳩子の耳に異らしく響かぬものとてはなかつた。朝日嶽の偉きな大きな姿。そのなかに深く鎖された自然の秘密熊の居る場所、その猛獸の生活狀態。ありきたりの狩獵法、捜索の仕方と山籠りの經驗、それに伴ふ危險肉や皮、膽などの賣買直段。さういつたやうな細かい説明に續いて、村の誰とやらは天狗の怒に遇つて、大杉の枝へ逆さに吊されたことや、獵人仲間の何某はやはりその祟で、谷底に吹落され三日も絶食してへと／＼になつてる所へ或夜大きな黑い影が現れて來て、その衿髮を攫んで空中へ提げて行き、彼の自宅の家根の上に投落したとや、獵に出てゐると、折々屏風のやうな岩の上を飛んでゐる人の姿を認めるとや、山越中に森林を根こそげにするほどの暴風が吹き起つて、一貫目以上の岩石が何處からともなくごろごろと飛んで來て、毬のやうに轉がり落る物音の戰慄するばかりに凄いとや。凪いでから出て見ると、枯枝一つ塊の砕片さへも落ちてゐないことや。雪の上にところ／＼、二尺あまりの巨人の足痕が鮮かに殘つてあることや。そんな奇怪な物語が鈍黑い彼の唇をとほしてさも物恐ろしげに繰回された。

『おゝ、もう十二時です』大野は鐵側の袂時計を見て驚いたやうに言つた。『好い加減に話を切上げませうか。お勞れでせうから』

『解うぢやね。では明日、引續きいろ／＼と山の研究をして、獵の準備をすると爲ようか。源作、お前も今夜此宿に泊るとにしては如何か』と子爵は言つた。

『いや、私は歸りやんすべ。娘の嫁に行つた家は近いから』妙にまごまごしながら、名殘惜さうに茶碗を覗詰めてゐたが、ちよいと銚子を把つて振つて見て『まだ有るやうだ。おつちでみんな御馳走になつていきやいすべッさ』

『あゝ、それがいゝ。ぢやあ次の間で有りつたけ飲んでゆくといゝ』

大野は膳部を次の間に下げさせて襖を閉めてから、宿の娘を呼んで子爵父子の寢床を上段に展べさせた。そして次の間に自分と生駒との夜具をはこばせた。

何處からかの借物でもあるのか、平生大事に土藏にでも仕舞つてある蒲團らしく、ぷんとした黴の香が鼻を惡くなるほど鼻神經を刺戟する、ごりごりした縮の入つた唐草模様の木細物で、その重さつたらまるで鎧のやうだつた。

『お父様、御寢遊ばしませ』

鳩子は父の肩に襟卷をあてがつてそつと夜著の袖をたゝいてから、火燵一つを離した自分の床に入つた。そして煤に黑びた天井を仰見げながら、少時は凝乎と四肢をすくめて、新らしい記憶から乘するやうに滲み出る傳奇的の感興を、詩のやうに味はつた。

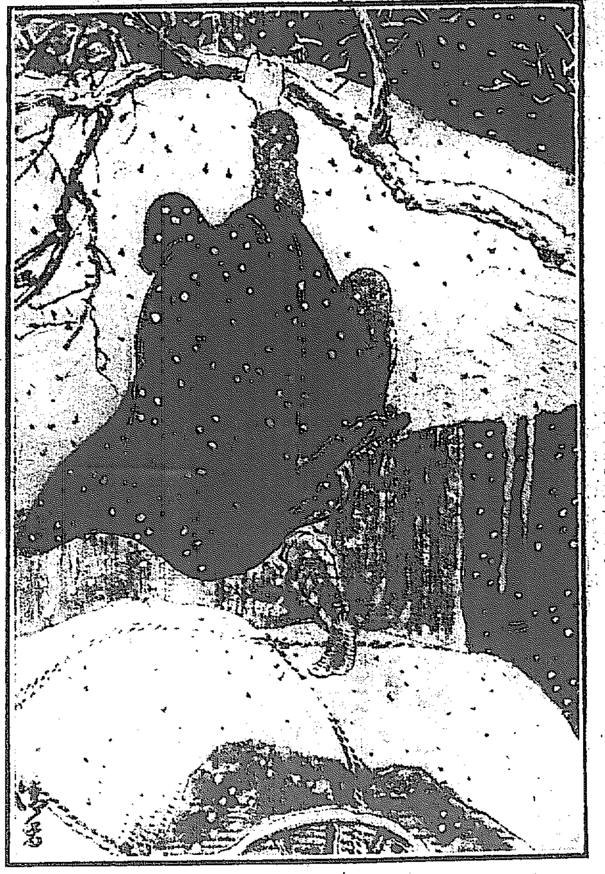
次の間の大野も最う寢入つたやうだつた。源作は歸つたのか歸らないのか、蕭然とした室を震はすばかりに、大きな鼾が聞ゑてゐた。それが生駒にしては餘りに高過ぎると思つた。

外では蓬々と音して、まだ吹雪が吼ね猛つてゐた。雨戸はをり／＼ばた／＼と身悶ゑした。

鳩子は眠れなかつた。今猶雪の中をさまよつてゐるやうな裏淋しい思が、胸に暗くひろがつて、目を瞑るといろんな寒い影のみがちらついた。

午前一時！

その時二階の廂の家根にのた／＼と這ひ揚つた大猿のやうな影があつた。



新刊紹介

○東京其角堂機一宗匠撰 九十會第四回撰句

立のほる四囲に春の風　瓢草
春風や靜に發す松の琴　同人
朧より奥に人あり斧の音　不岐
高山の二段三段霞みけり　苦人
大締して畑打けり新世帶　辰笑
畔巴て平話や畑打　一蕉
我庭や鷺朝な／＼來る　鼯笑
曇る日も花鋪の高音哉　苦々
長命は氣易きにあり桃の宿　保坊
牛見き風の吹くなり桃の里　水戸坊

再考十印

潟な移く晒門の塵や春の風　三峯
分け上る霞の奥の札所かな　和山
夕霞潮來出島は灯りけり　水戸坊
打上げた畑や夕餉の酒の味　保々
露や雨の一と日なみたれ鴉　桂寺
人、壇草の戸の春を飾るや桃の花　瓢草
天、春風や江湖の寺の五色旛　和山
地、露のよく音つる、閑居哉　瓢草
人、謡題船に針する新なか　機一

▲朝鮮農會報（一一の六）農學の發展と科學設之助、朝鮮土地改良論三浦宗明、桑園管理に關する私見寺内兵篤、改良豚の普及獎勵に就て森谷元一、哈爾賓の農業狀況、朝鮮道地方課北他（二十錢京城道水原日出町朝鮮農會）

▲園藝之友（六月號）路傍果樹に就て今泉政吉、結果せざる櫻桃示の人、柿の落果防止法門木系剛、手當牡丹唉胡頽の栽培谷本貞司、朝鮮の果樹模範栽培法及當の手の果樹苑、蔬菜園庭園、溫室其他の行事等（二十錢東京市本郷區臺町七日本園藝研究會）

▲衛生新報（一三の一七八）田舍に於ける食物の選方澤村農學博士、副業としての藥草採集かけり虫、特種の藥効ある日用食品栗園學士其他（五錢五厘東京市日本橋區横屋町一四北社）

▲東華評論（二の一八）支那人の經營に成る日支雜誌なり其の時局に對する態想の一端を覗ふべし革黨登一國を托するに足るか、日本の對支政策、米國に於ける日支關係等は其主なるもの（十錢北京東城鋖米倉一六北社）

▲謡の友（創刊號）能樂畫報より分家したるもの本號の能樂畫報は能に全力を注ぎ分家たる本誌は謡を稽古する者と各流派に對しては公平に絶對に謡本位に謡曲家の忠僕たらんとせり斷全なる發達を望む（十五錢東京市麹町區猿樂町二の一一能樂通信社）

▲滿鮮實業界（六月號）世界の趨勢と我國の經濟界勝田主計、戰後に處する覺悟と大連の將來小寺壯吉、時世は朝鮮に植物染料製造の興起を促す舟永眞平、滿洲の工業と朝鮮の農業志村源太郎、青島に於ける有望なる企業寺島萬次郎、朝鮮に於ける耐火煉瓦原料海鼠柱一、及び滿鮮の企業界、實業界雜録等一として滿鮮在住者必讀の文字たらざるはなし（三十錢大連市勢町八北社）

▲實業之日本（一九の一二）實業之世界と相對して東西の兩大關たるの觀ある本誌は老熟せる増田社長の下に斯界に於ける驚倒的寄學たるの面目を發揮して遺憾なし今年迎に相ずるの準備有利なる稲田の二重利用法、社會階級の調和、學校卒業生の小資本開店實驗、今時成金物語、十二萬圓の純益ある我藝術所、各大會社の社員採用物語等は青年に推薦すべき好文字にして人の半面、怪談逸話は面白き斷片たり（十三錢東京市京橋區南紺屋町一二北社）

▲算子必携此は調法　社會百般の計算調定事務の簡捷に資せんが爲めに遐陸せるものにして暦日、利息、俸給稅金等より丸太、立木の尺〆各種面、容積の換算等に至る迄一目瞭然たる數字表に示し尚ほ第一編基礎計算の諸表第二編應用算の諸表第三編基礎計算の便法に分ちて簡明に算出法を說明したり携帶に便に殊に容易に活用の益あり此は調法の名人を狀かず（六十五錢東京府西大久保町一三三本社）

▲月刊樂譜（五の六）樂說、樂曲、樂話の三部より成る樂曲には『いかでおと別れ行かん』『黒き影』『野路』其他あり（八錢東京市京橋區銀座四の四山野樂器店）

読者の領分

十二日の夜南大門驛の南倉庫の裏道を十五六位の雛妓が龍山の方から一人で歩いて來る所を物蔭から現はれ出た一人の醉漢が怪しな眞似をやつたので女は悲鳴をあげた其聲を聽きつけて直ちに巡査が驅付けて件の男を捕へて本町署に引致したが世者は某醫院の藥局生らしく見ゐた是から夜遲く女の一人歩きは物騒だ（質見生）▲忠南某學校の苦々しいストライキで山籠り紛擾事件といふ奇拔な騒動がありましたぞチョッコンお知らせしましようか（ハイカラチョンガー）▲承れば先達城壁廻りがあつたさうですがモー一度舉行して下さいませんか（希望生）▲南大門でも龍山でもだが列車に賣りに來る辨當屋がお茶を一緒に持つてゐないと云ふ事は賣店と賣子の方が儲けが少くて面倒なのでゞもあらうが非常に客の方では不便だ龍山の驛長さんは力めて其事の小言を云ふが矢張り勵行されてゐない樣だ（旅行者）▲朝鮮人の物賣が一町内位に響き渡るほどの大聲を出すのはうるさい事だ交番の巡査さんからも少し聲を小さくする樣に八ケ間しく言はせる事は出來ないものかしらて（病人の附添）

商況

大阪株式特電

（合同新鐘、綿調新鐘、同上新株、東京鐘紡）六月限、七月限 一三三、六〇　一三三、七〇　一三四、一〇　一三四、八〇 …

下關期米特電

…中先稍開き…

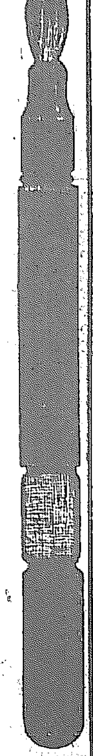
御園白粉

御園煉白粉の濃化粧には襟こ頸を二重塗に濃くお顔は一段薄く刷付け、薄化粧には化粧水御園の露に溶して用ゐるのが良く、尚ほ顔の色の良くない方又は夜化粧には淡紅色御園白粉が適當です。

本舗　伊東胡蝶園　發賣元　丸見屋商店（一二三）

萬年毛筆　タイヨー

新案特許三六二九八號　▲六月十五日迄　特價六十四錢　特稅金八錢　京城日報社代理部



學校手藝用材料　糸ひも類　造花用裝飾品

京城本町二丁目二番地　旧明治町東側　尾琴屋　電話一三五九番

朝鮮人參應用　ホーカースホートの原料

參考

一歳の赤ん坊から百歳のお老人に至る迄……滋養強壯料ばかりで特製たおいしいお菓子！　食べる丈肥る　ホーカースホートを召し上れ

家庭常用　お土産物　お贈答品　會場お配物に好適

子供の發育によく　滋養の精力つき　仕事の代りとなり　學生の腦補に　虚弱病人の滋養に　思ひ切れなれ　顔色をよくし

旅行に持つて　時候の寒暑に堪へ　胃腸の働きを保つ

定價　大十四錢　小七錢　送料四錢

▼全國到る處の食料品店、菓子店、雜貨店、藥店等にあり、品切れの時は直接本舗宛御注文を乞ふ　大三個以上なれば送料無料

ホーカー液　ホーカー白粉本舗　ホーカー美髮液舗　ホーカースホート　東京両國橋　堀越嘉太郎商店　振替東京一五六

美人美男子コレカラできる色白くなるゲンン液

今東京で大評判の元來顔色黒き顔赤き顔日ヤケ、おしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御附送あれば送品す　送料内地八錢　滿鮮卅錢　逸樽卅錢　小場二十錢　徳用四十錢　東京神田和泉橋際　松本榮舌

わきが

を一度御使用あれば全治にて今迄彼是と藥を用ひ効なき方はファーザー藥價三十錢六十錢一圓郵送料不要　京城黄金町三丁目　山田文殊堂藥房

商標　佛具調進所　京城本町二丁目花月前　電話一五七一　小倉佛具店

父嘉七儀葬送の際は御多用中遠路態々御會葬被下御厚志の段奉深謝候混雜中御尊名伺洩れ有之哉も難計候に付乍略儀以紙上御禮申述候敬具

大正五年六月十三日

男　杉江莊一
親族總代　杉江嘉左衛門

金泉醴泉間自動車發着時間

上り一番　二番　下り一番　二番
金泉發　醴泉發 …

金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆

大連、太沽、牛莊行　相模丸　七月五日正午出帆
高砂丸　七月十五日正午出帆
三河丸　六月廿四日正午出帆
仁川海岸町十一番　電話十番　堀回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行　立神丸　六月廿七日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行　立神丸　六月十五日後十時出帆
門司、神戸、大阪行　小倉丸　六月二十日後五時出帆
元山、城津、浦鹽行　小倉丸　六月廿九日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三雲漢丸　六月三十日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行　第三雲平丸　六月十九日後六時出帆
住須奈、厳原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行　第三共同丸　六月十四日後三時入　六月十六日前九時出
西鮮、津浦各港を經て雄基行　第一阪鶴丸　月日後九時出
城津、清津、浦鹽行（元山出帆）第三共同丸　月日前八時出

仁川代理店　山下回漕部　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船出帆

全羅丸　京畿丸　慶尚丸　咸鏡丸 …　釜山發
穩城丸　昌平丸　鏡城丸 …　元山發
忠清丸　平壤丸 …
永興丸　盈徳丸　江陵丸　襄陽丸　三浦丸 …
海州丸　統營丸　巨濟丸　慶興丸　順天丸 …
公州丸　慶州丸　宗信丸　江原丸　鹿水丸　普州丸　錦江丸　南陽丸　平安丸 …

大阪商船仁川出帆

群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　天智丸　安東丸 …
木浦、釜山、嚴原、鄭の浦、長崎行　信濃川丸 …
鎮南浦、大連行　信濃川丸 …
大連直行　潮州丸　福州丸 …
群山、釜山、横濱行 …
上海、基隆、打狗行 …

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行　大正丸　大有丸　神代丸　秀吉丸 …　仁川海岸通　杉回漕部